

JVC

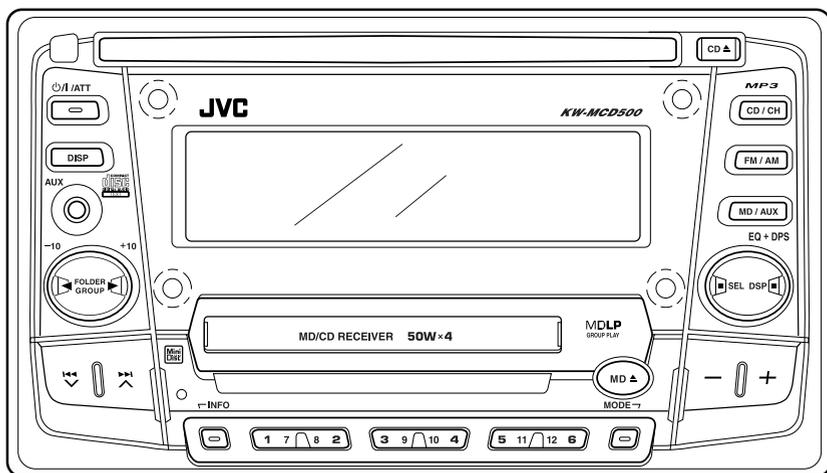
取扱説明書

MD/CDレシーバー

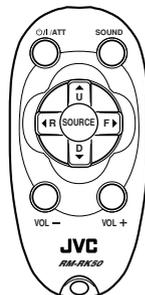
型名 KW-MCD500

ブラック ホワイト

-B/-W



MDLP



— お買い上げありがとうございます —

!ご使用の前に

この「取扱説明書」と「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT0885-001A

もくじ

	ページ		ページ
●安全上のご注意	3～5	・CDを取り出す	26
●使用上のご注意	6～7	・CDの盗難防止	26
●各部の名前	8～9	●MP3について	26～27
●リモコン(RM-RK50)の 使いかた	10～11	・MP3フォルダ/MP3ファイルの演奏順序	27
●基本操作	12～13	●MP3ディスクを聞く	28～31
・時計を合わせる	13	・ダイレクト演奏 (ダイレクトフォルダアクセス機能)	29
●ラジオを聞く	14～17	・次または前のフォルダにスキップする	29
・放送局を選ぶ	14	・リピート演奏(くり返し演奏)	30
・放送局を自動でメモリー(記憶)させる	14	・ランダム演奏	30
・放送局を選んでメモリー(記憶)させる	15	・イントロスキャン	30
・放送局を呼び出す(プリセット選局)	15	・MP3ディスク演奏中の表示内容を変える	31
・道路交通情報を聞く	16	・CDを取り出す	31
・スキャン選局	16	●CDチェンジャーのCDを聞く	32～33
・FM放送が雑音で聞きにくいときは	16	・全曲演奏(全CDのくり返し演奏)	32
・放送受信中の表示内容を変える	17	・数字ボタンでCDを選ぶ	32
・アンテナリモートについて	17	・リピート演奏(くり返し演奏)	33
●MDを聞く	18～21	・ランダム演奏	33
・長時間ステレオ再生について	18	・イントロスキャン	33
・MDを挿入するときは	18	・CD演奏中の表示内容を変える	33
・グループ機能について	19	●他の機器の音を聞く	34
・ダイレクト演奏	19	・CDチェンジャー端子を使うとき	34
・リピート演奏(くり返し演奏)	20	・フロントAUX端子を使うとき	34
・ランダム演奏	20	●SELボタンの使いかた	35～40
・イントロスキャン	20	・電源「切」のとき時計を表示させる	36
・MD演奏中の表示内容を変える	21	・レベルメーターの表示切換	36
・MDを取り出す	21	・ピープ音を「オン/オフ」する	37
・MDの盗難防止	21	・表示窓の明るさを変える	37
●CDを聞く	22～25	・放送局名を自動で表示させる	38
・CD-R/CD-RWディスクについて	23	・表示窓のコントラストを調節する	38
・CD TEXTについて	23	・文字表示のモードを変える	39
・ダイレクト演奏	23	・CD/CHボタンのモードを変える	39
・リピート演奏(くり返し演奏)	24	・フロントAUXの入力感度を上げる	40
・ランダム演奏	24	・ID3Tag表示を「オン/オフ」する	40
・イントロスキャン	24	●MODEボタンの使いかた	41
・CD(コンパクトディスク)のお手入れ	24		
・CD演奏中の表示内容を変える	25		

● 文字の入力のしかた……………	42	～	43	ページ	● カスタマイズプレートの着せ替え……………	50	ページ
・ 文字の入力と修正・削除……………	42				● お手入れ……………	51	
・ 文字配列表……………	43				● 放送局名一覧……………	52	～
						55	
● 音量・音質の調節……………	44	～	45		● 故障かな？と思う前に……………	56	～
・ 重低音を調節する……………	45					57	
					・ こんな表示のときは……………	57	
● EQの使いかた……………	46	～	47		● 保証とアフターサービス……………	58	
・ 調節したEQをメモリーしておく……………	47				● 主な仕様……………	59	
● DSPの使いかた……………	48	～	49				
・ リスニングポジションの設定……………	49						

安全上のご注意 —はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

● 絵表示の説明

注意をうながす記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号



一般的注意



指をはさまれないよう注意



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



一般的指示

安全上のご注意(つづき) –はじめにお読みください–

警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。



- ・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。



- ・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

車内に飲みかけのパック飲料等を放置しない。



- ・カップホルダーの取付位置によっては、こぼれた飲料が本機の内部に入り発煙や発火・故障の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。



- ・万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起きたら、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

自動車を運転中に音量調節等の操作をしない。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

⚠ 注意

本機の通風孔や放熱板をふさがない。



- ・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

指定の電池以外は使用しない。



- ・電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。



- ・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れる。



- ・間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

ディスク挿入口に異物を入れない。



- ・火災や感電・故障の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手や指を入れない。



- ・けがの原因となることがあります。

指をはさまれないよう注意

本機を車載用以外には使用しない。



- ・感電やけがの原因となることがあります。

使用上のご注意

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり50W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω～8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気の多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また**操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。**
- ・ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、CD/MDを聞くときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。
(使用温度範囲：0℃～+40℃)

●LCD表示(表示窓)について

極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これはLCDの特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してCD/MDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機はBTL*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ずこの取付説明書の通りにしてください。

既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの⊖側が車の金属部に接続されていたり、⊖側同士が接続されていると故障の原因になります。

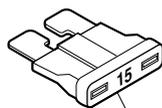
*BTL : Balanced Transformerlessの略

2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



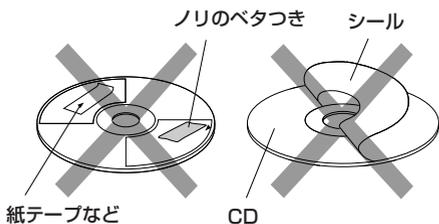
ヒューズ(15A)

●携帯電話を使用する場合は…

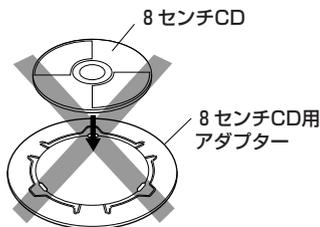
携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。

CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて

- CD/CD-R/CD-RWを保管するときは専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWの取扱いについて
CD-RやCD-RWは、通常の音楽CDより反射膜が弱いので傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。
- 記録面やラベル面に紙テープやシールを張ったりしないでください。
そのまま使用するとCDが取り出せなくなったり、故障の原因となります



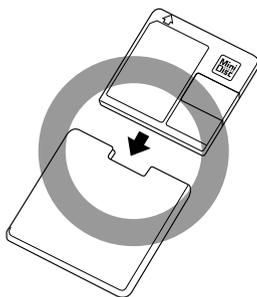
- ハートや花などの形をした特殊形状のCDは、絶対に使用しないでください。
円形以外のCDを使用すると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- 8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。
8センチCDは、そのまま挿入してください。



- 長時間CDを使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。

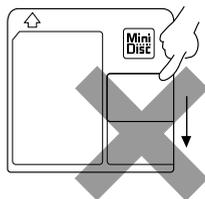
MDの取扱いについて

- MDを保管するときは



MDを本機から取り出して専用ケースに入れ、直射日光の当たる所やダッシュボードの上などは避けて保管してください。
MDが変形すると、故障の原因となります。

- MDのシャッターについて



MDのシャッターは、開けられないようになっています。無理に開けると、MDが破損する原因となります。

- MDにラベルを張ってお使いになる場合

ラベルは、はがれないように端の方までしっかりと張りつけてください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままお使いになると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因になります。

- 長時間MDを使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。

- 定期的にお手入れを

MDがほこりやゴミで汚れたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってから使用してください。

各部の名前

—□の数字のページに説明があります。—

ディスプレイ
DISPボタン¹⁷²¹²⁵³¹³³⁴²

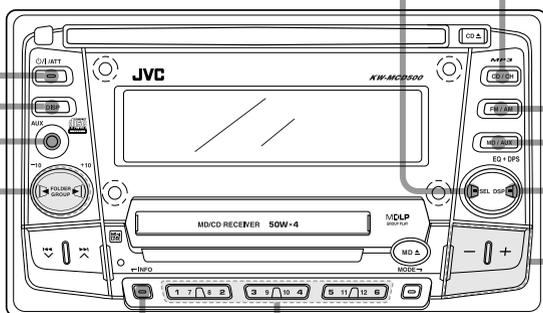
MD/AUXボタン*¹²³⁴

電源/ATTボタン¹²
電源の「入」↔「切」ができます。

FM/AMボタン*¹²¹⁴

チェンジャー
CD/CHボタン*¹²³²

セレクト
SELボタン
音量調節のモードが選べます。⁴⁴
2秒以上押しと、「PSM」が表示され
時計合わせなどの各種設定モードに
なります。¹³³⁵



インフォメーション
INFOボタン*¹⁶
道路交通情報を聞く
とき使います。

数字ボタン

- ・「ラジオ」のとき：
1～6が機能します。¹⁵
- ・「MD」「CD」「CDチェンジャー」のとき：
1～12が機能します。¹⁹²³²⁹³²

「MD」のとき	「MP3ディスク」のとき
グループ GROUP ボタン ¹⁹	フォルダー FOLDER ボタン ²⁹

＋、－(音量)ボタン
音量調節や各種の設定が
できます。¹²³⁵⁴⁴

エーユーエックス
フロントAUX端子³⁴

DSPボタン⁴⁵⁴⁶⁴⁸

*印のボタンは電源を「入」にすることもできます。

◀▶ボタン／選局ボタン(∨、∧)

ソース(音源)によって働きが異なります。

ソース (音源)	「MD」「CD」 「CDチェンジャー」	「ラジオ」
働 き	曲の頭出しや早送り、早戻し ができます。 18 22 28 32	放送局を選局するとき使いま す(オート選局/マニュアル選 局)。 14

ファインダー

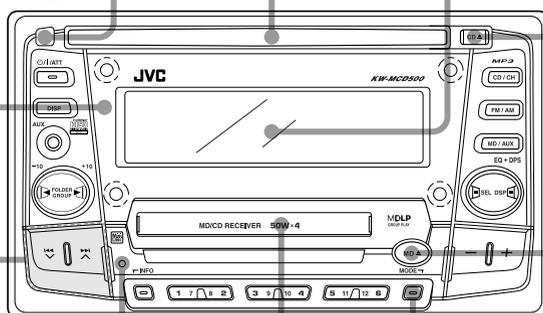
付属のカスタマイズ
プレートに交換する
とき外します。**50**

リモコン受光部

付属のリモコン(RM-RK50)
の信号をここで受信します。
10

CD挿入口**22**

表示窓(ディスプレイ)

CD▲(取出し)
ボタン**25** **31**MD▲(取出し)
ボタン**21**MD挿入口**18**

リセットボタン

内蔵のマイコンをリセット
するとき使います。

- ・初めて電源を入れたとき
- ・どのボタンを押しても動
作しなくなったとき

モード
MODEボタン**41**

ソース(音源)によって使いかたが異なります。

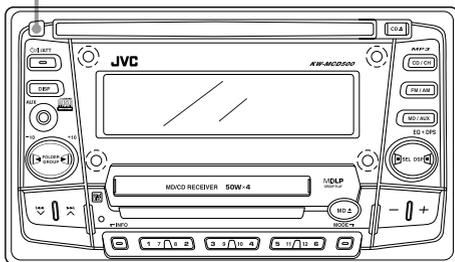
- ・「ラジオ」のとき：**14** **16**
- ・「MD」「CD」「CDチェンジャー」のとき
19 **20** **23** **24** **29** **30** **33**

リモコン(RM-RK50)の使いかた

リモコンの使いかた

- リモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください。(動作しないことがあります)
- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。

リモコン受光部

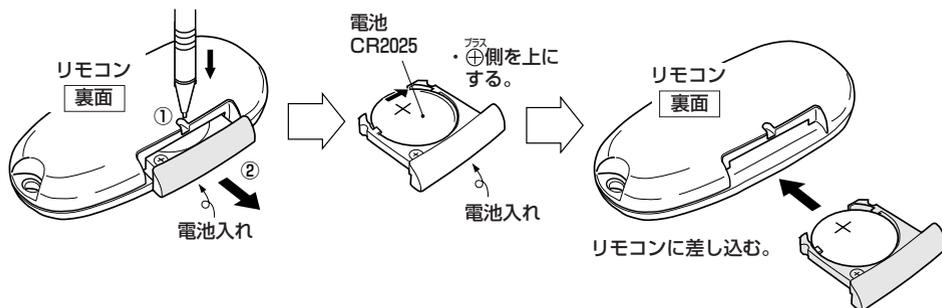


ご注意

- 長時間直射日光が当たる場所(ダッシュボードの上など)に、リモコンを置かないでください。変形や故障の原因となります。

電池の入れかた

ボールペンなどで
押し取り出す。



● 電池の交換時期(目安)は…

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

使用済みの電池は、廃棄しないでリサイクル協力店にお持ちください。

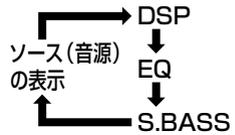
各部の名前

^{アッテネーター}
 電源の「入↔切」ボタン

電源の「入↔切」ができます。
 電源を「切」にするときは、
 1秒以上押します。
 電源「入」のとき「ポン」と押
 すと、音量を一時的に下げ
 ることができます。

^{サウンド}
 SOUNDボタン

押すごとにサウンドの
 モードが選べます。



各モードは、VOL+、-
 ボタンで本体の+、-(音
 量)ボタンと同様に設定
 できます。

F、Rボタン

ラジオ	CD、MD CDチェンジャー
オート選局 (SEEK)	曲(ファイル) の頭出し 早送り、早戻し

^{ソース}
 SOURCEボタン

押すごとにソース(音源)が選
 べます。ただし電源を「入」
 にすることはできません。

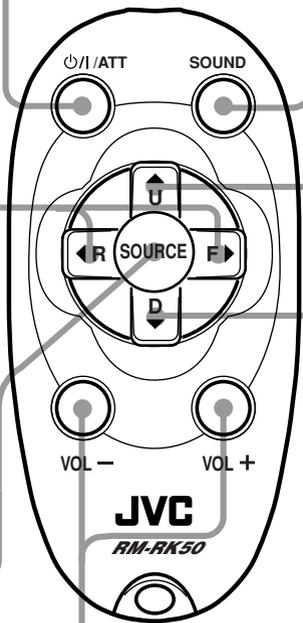


- *1 本機にMDやCDが入っているときのみ
- *2 CDチェンジャーが接続されているときのみ

^{ボリューム}
 VOL+、-ボタン
 音量を調節することが
 できます。

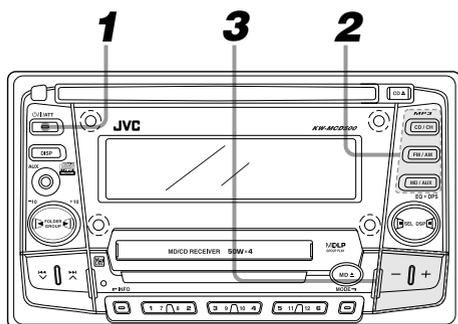
U、Dボタン

	ラジオ	CDチェンジャー	MP3 ディスク	MD グループディスク
Uボタン	FM/AMの バンド切換	CD1~CD12 の選択	次または前 のフォルダ にスキップ	次または前 のグループ にスキップ
Dボタン	プリセット 選局			



基本操作

準備 ●車のエンジンをかける。



1 電源/ATTボタンを押して電源を入れる



・「WELCOME! JVC」が表示され、電源を切る前のソース(音源)…お買い上げ時はラジオ(FM1)…が表示されます。

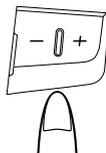
2 いずれかのボタンを押してソース(音源)を選ぶ

	ソース(音源)	参照ページ
CD / CH	CD *1	22 28
	チェンジャー CHANGER *2	32
FM / AM	「ラジオ」 FM1 → FM2 → AM1 ← AM2 ←	14
MD / AUX	MD *1	18
	AUX-IN	34

* 1 本機にCDおよびMDが入っているときのみ
* 2 CDチェンジャーが接続されているときのみ

●これらのボタンは、ダイレクトソース切換機能のほかに電源を「入」にすることもできます。

3 +、- (音量) ボタンで音量を調節する



・調節範囲
VOLUME 00 ~ VOLUME 50
(初期設定 VOLUME 15)

●音量を一時的に下げる
電源/ATTボタンを「ポン」と押すと、「ATT」が点滅表示され音量が下がります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

●電源を「切」にする



電源/ATTボタンを1秒以上押します。「SEE YOU」が表示され電源が切れます。

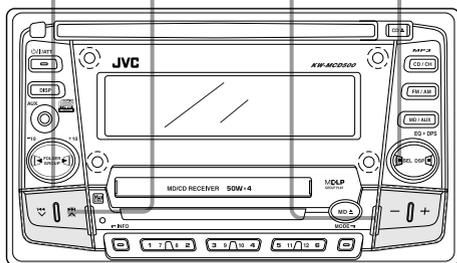
●1秒以上押す。

〈お知らせ〉

- 「CHANGER」は、CD/CHボタンのモードを外部入力に切換えると「LINE INPUT」になります。➡39ページ参照
- CD▲またはMD▲(取出し)ボタンは、電源「切」のときも操作できますがソース(音源)は切換わりません。
- 音量・音質の調節は44~45ページをご覧ください。

時計を合わせる

2 **3.2** **3.1** **3.3** **1** **4**



1 SELボタンを2秒以上押す



・2秒以上押す。

・お買い上げ時は、「PCM」表示のあと「時刻設定」が表示されます。→手順3へ進む
 ・これ以外の場合は、「PSM」表示のあと選ばれているモードが表示されます。

15秒以内に

2 ▶▶(または◀◀)ボタンを数回押して「時刻設定の【HOUR】を選ぶ



逆に選べます。

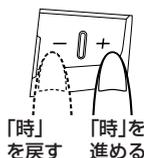
時刻設定
HOUR MIN

15秒以内に

3 +、-(音量)ボタンと▶▶ボタンで現在時刻に合わせる

例：7時30分に合わせる
 (12時間表示方式です)

3-1 「時」を7に合わせる



「時」を戻す 「時」を進める

「時」表示 「分」表示



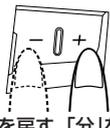
1秒ごとに点滅

3-2

「時刻設定の【M I N】「分」を30に合わせるを選び...



ビッ



「分」を戻す 「分」を進める



15秒以内に

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。
 SELボタンを押さないときは、15秒後に元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- 時刻を合わせ直すときも手順1~4の操作をします。
- 時刻合わせのとき、+、-(音量)ボタンを押し続けると連続して変わります。
- 電源「切」のときも時計を表示させたいときは、**36**ページをご覧ください。
- SELボタンを使ってその他の設定を変更したいときは、**35**~**40**ページをご覧ください。

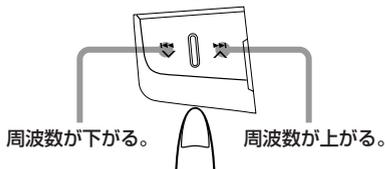
ラジオを聞く

1 FM/AMボタンでソース(音源)を「ラジオ」にし、バンドを選ぶ



放送局を選ぶ

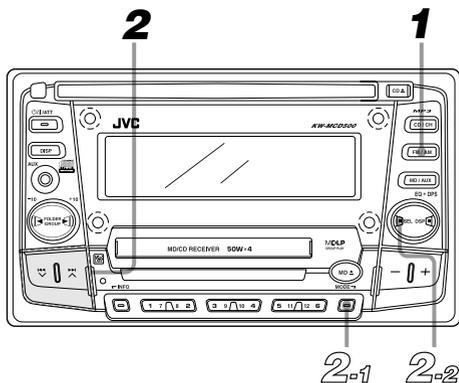
2 選局ボタン(∧または∨)を押して選局する



- **オート選局**：「ポン」と押して離す。(シーク) 「SEEK」が表示され、本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。
- **マニュアル選局**：1秒以上押して「M」を点滅表示させたあと、「ポン・ポン」と押して選局する。
・FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。

〈お知らせ〉

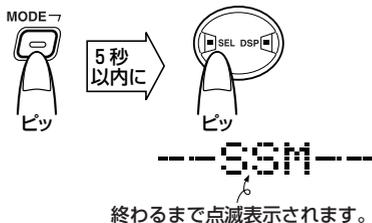
- ソース(音源)を「ラジオ」にするとFM放送はFM1またはFM2、AM放送はAM1またはAM2が表示されます。
- 受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。
- マニュアル選局のモードは、選局の操作から5秒後に自動で解除されます。
- AM放送はモノラル受信です。



放送局を自動でメモリー(記憶)させる

—SSM(ストロングステーションメモリー)機能—

2 MODEボタンで「SSM」を選び、SELボタンを押す



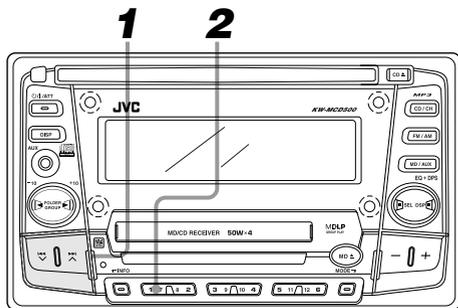
- 本機が自動で電波の強い放送局を数字ボタンの(17)～(19)にメモリーしていきます。
- メモリーし終わると数字ボタン(17)に記憶された放送局が表示されます。
- バンドごとに6局ずつメモリーされます。

〈お知らせ〉

- SSM機能を使うと、すでにそのバンドにメモリーしてあった放送局は消えます。
- 放送局が6局より少ないときは、前のメモリー内容が残ります。
- 受信状態が悪いと、うまくメモリーされないことがあります。よく受信できる所に移動してから操作してください。
- 放送を聞くときは、プリセット選局が利用できます。→10ページ参照

放送局を選んでメモリー(記憶)させる

SSM機能を使って自動でメモリーされるほかに、放送局を選んでから数字ボタンにメモリーしておくこともできます。



例：FM放送の81.3MHzを「1 7」ボタンにメモリーする

1 選局ボタン(∧または∨)でFM81.3MHzを選局する

→14ページの「放送局を選ぶ(オート選局またはマニュアル選局)」参照

2 数字ボタンの「1 7」を2秒以上押す



・2秒以上押す。

押した数字ボタンと同じ数字が点滅表示されると、メモリーされます。これをマニュアルプリセットといいます。

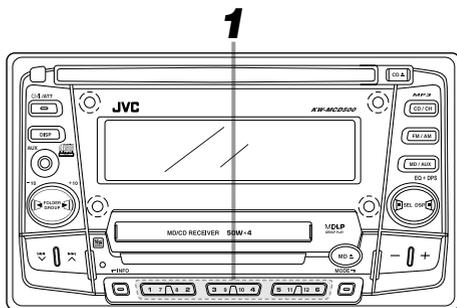
- 数字ボタンのメモリー順を変えたり、新しい放送局を追加するときなどに使うと便利です。

〈お知らせ〉

- この操作はSSM機能で放送局をメモリーした後にしてください。あとからSSM機能を利用すると、取り消されることがあります。
- 数字ボタンは必ず2秒以上押し続けてください。短いとメモリーされません。

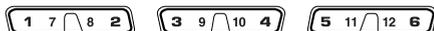
放送局を呼び出す(プリセット選局)

数字ボタン(1～6)にメモリー(記憶)されている放送局がワンタッチで選局できます。



1 数字ボタン(1～6)を押して選局する

(プリセット選局といいます)



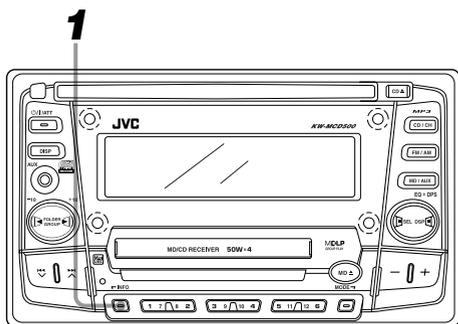
- 数字ボタン(1～6)にメモリー(記憶)されている放送局がワンタッチで選局できます。
(数字ボタンは2秒以上押し続けないでください)

ご注意

- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、メモリー(記憶)した放送局は取り消されます。また時計表示は1:00に戻ります。電源を接続したらもう一度始めから放送局や時計を設定し直してください。

ラジオを聞く(つづき)

道路交通情報を聞く



1 INFOボタンを押す



INFO 1620kHz

高速道路などの特定地域では、AM1620kHzで道路交通情報を聞くことができます。聞きたいところでINFOボタンを押すと、ソース(音源)に関係なく1620kHzが受信できます。

- INFOボタンを押して放送を聞いている状態では、放送局名を表示させることはできません。
- このモードのときはボリュームが独立しており、交通情報を聞く場合のみ音量を上げることができます。もう一度押すと元のソース(音源)に戻り、音量も元に戻ります。
- なお、別の放送局を受信中にINFOボタンを2秒以上押すと、その放送局と音量がINFOボタンにメモリーされます。
- AM1629kHzで道路交通情報を行っている地域のときは、あらかじめINFOボタンにメモリーし直しておくとう便利です。

スキャン選局

MODEボタンを2回押すと、「SCAN」が表示されSELボタンを押すと、自動的に周波数が高い方に移動し、放送局を探します。



放送を受信するごとにその周波数が点滅表示され、約5秒間聞くことができます。聞きたい放送局のときはもう一度、MODEボタンを押します。スキャン選局が終了し、その放送を継続して聞くことができます。

FM放送が雑音で聞きにくいときは

FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送の受信モードを「MONO ON」に切換えます。



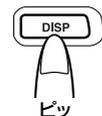
- MODEボタンを3回押して「MONO」を表示させSELボタンを押す。

表示窓に「MO」が表示され、モノラル受信モードになり聞きやすくなります。電波状態が良くなったらもう一度同じ操作で「MONO OFF」に切換えます。FMステレオ放送を受信すると表示窓に「ST」が表示されます。

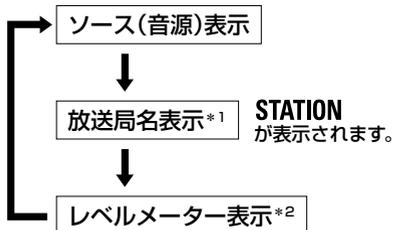
〈お知らせ〉

- MODEボタンの使いかたについては、41ページをご覧ください。

放送受信中の表示内容を変える



DISPボタンを押すごとに、表示内容を変えることができます。



* 1 「放送局名を自動で表示させる」の操作(⇒⑧ページ参照)をすると表示されます。ステーションエリアを設定する前は「NO NAME」が表示されません。なお、放送局名はスクロール表示されません。

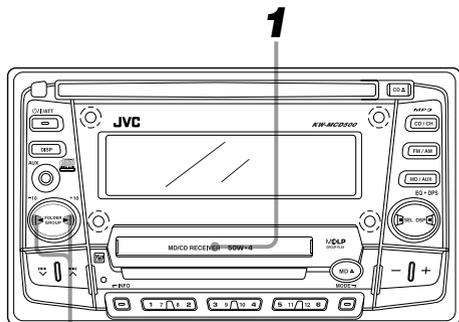
* 2 「レベルメーターの表示切替」でレベルメーター[3]または[4]を選んでいるときのみ表示されます(⇒⑧ページ参照)。

アンテナリモートについて

- 電動アンテナ装備車およびアンテナブースター装備車の場合は、本機の「アンテナコントロール電源」コードを車両側の対応する端子(アンテナコントロール)に接続してください。ソース(音源)を“ラジオ”にすると自動的にアンテナ(ブースター)側に電源が供給されます。“CDチェンジャー”や“CD”、“MD”などにソース(音源)を切換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。

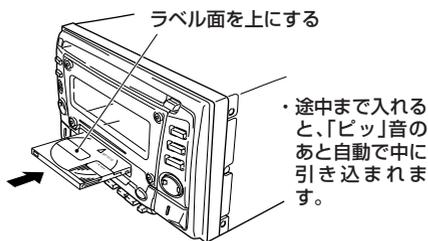
(アンテナコントロール電源コードの最大コントロール電流は250mAです)

MDを聞く



GROUPボタン

1 MDを入れる→ソース(音源)が「MD」になり演奏がスタート

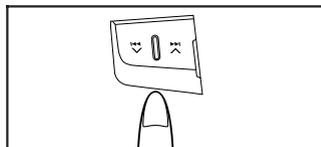


・MDが入っていることを表す が表示されます。

- MD演奏中に電源を切ったときは、電源を入れると自動的に演奏がスタートします。
- 「--- PLAY」表示中は、MDのデータを読み込んでいます。終わると演奏がスタートします。
- グループ分けされているMDを入れると **GROUP** が表示されます。

〈お知らせ〉

- モノラル2倍長録音したMDは、自動的にモノラルで再生されます。
- データ用MDについて
データ用MDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。



曲の頭出し (スキップ)	▶▶ : 押すごとに次の曲の頭に移ります。 ◀◀ : 演奏中の曲の頭に戻ります。押すごとに前の曲の頭に戻ります。
早送り・早戻し (サーチ)	▶▶▶ : 押し続けている間早送りされます。 ◀◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。 演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。

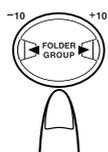
長時間ステレオ再生について

本機はMDLPに対応しています。音声データを高精度圧縮技術ATRAC 3で録音済みのMDの場合、LP 4モードは最長320分、LP 2モードは最長160分の長時間ステレオ再生が可能です(MD80使用時)。LP 2またはLP 4で録音したMDを演奏すると、表示窓にLP 2またはLP 4が表示されます。MDLPに対応していないMDレコーダーで録音したMDは、SP(標準)モードで再生できます(SPの表示はありません)。

MDを挿入するときは

- 故障を防止するため次のことを確認してください。
 - ・ラベル面を上にする。
 - ・挿入方向を表す や の表示に従って本体に入れる。
 - ・無理に押し込まない。
(途中まで入れると自動で引き込まれます)
 - ・ラベルのはがれかかったMDは使用しない。

グループ機能について

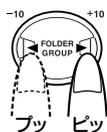


MDLPで長時間ステレオ録音した曲を、CDごとやアーティストごとなどいくつかのまとまり(グループ)に分けて利用することを、グループ機能といいます。

グループ 1	グループ 2	グループ 3
曲番号	曲番号	曲番号
1 2 3	4 5 6	7 8

● 聞きたいグループを選ぶ

グループスキップ



今のグループの頭へ戻る。押すごとに前のグループの頭に戻る。

次のグループの頭へ移る。

- 選んだグループの先頭の曲から聞くことができます。

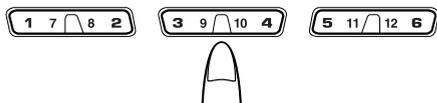
ダイレクトグループアクセス機能

MODEボタンを2回押して「GROUP」を表示させ、数字ボタンを押すとダイレクトにグループが選べます。



- 2回押して「GROUP」を表示させる。

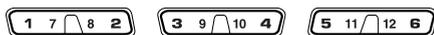
5秒以内に



- グループ 1～6
数字ボタンを「ボン」と押します。
- グループ 7～12
数字ボタンを1秒以上押します。
- くり返して押すときは、2秒以上間隔を空けないで押してください。

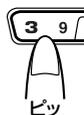
ダイレクト演奏

演奏中に別の曲がダイレクトに選べます。

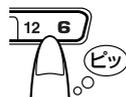


- 1～6曲目
数字ボタンを「ボン」と押します。
- 7～12曲目
数字ボタンを1秒以上押します。

例：3曲目のとき

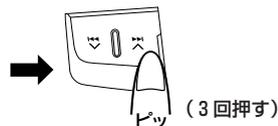


例：12曲目のとき



- 13曲目以上は
▶▶ボタンを併用します。

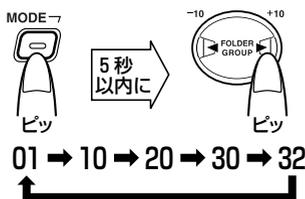
例：15曲目



- 1秒以上押す。

またMODEボタンと+10(または-10)ボタンを使うと、前後10曲ずつダイレクトに選べます。

例：32曲入りMDのとき



- MODEボタンを押すと+10と-10が点滅表示されます。
- MODEボタンを押したあと+10ボタンを押すと、このような頭出しができます。-10ボタンを押すと、逆に選べます。

＜お知らせ＞

- 曲数が10曲に足りないときは、最後の曲が選ばれます。
- +10ボタン(または-10ボタン)をくり返して押すときは、2秒以上間隔を空けないで押してください。

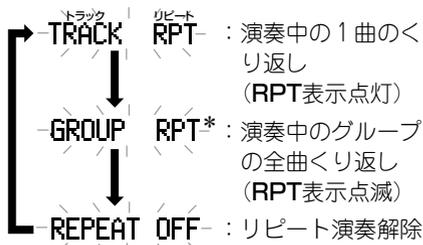
MDを聞く(つづき)

リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



- MODEボタンを3回(グループ分けされていないMDは2回)押して「REPEAT」を表示させる。SELボタンを押すごとに次のように動作します。



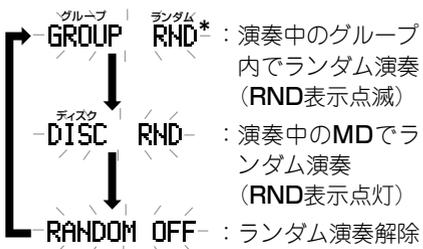
*グループ分けされているMD(曲)に限り表示されます。

ランダム演奏

MDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



- MODEボタンを4回(グループ分けされていないMDは3回)押して「RANDOM」を表示させる。SELボタンを押すごとに次のように動作します。



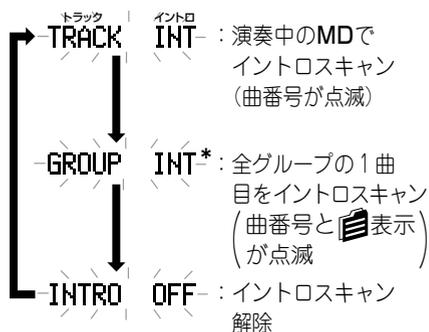
*グループ分けされているMD(曲)に限り表示されます。

イントロスキャン

聞きたい曲が素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきま。聞きたい曲が見つかったら◀◀ボタンを押します。



- MODEボタンを5回(グループ分けされていないMDは4回)押して「INTRO」を表示させる。SELボタンを押すごとに次のように動作します。



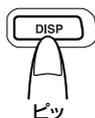
- 一通りイントロスキャンが終わると解除されます。

*グループ分けされているMD(曲)に限り表示されます。

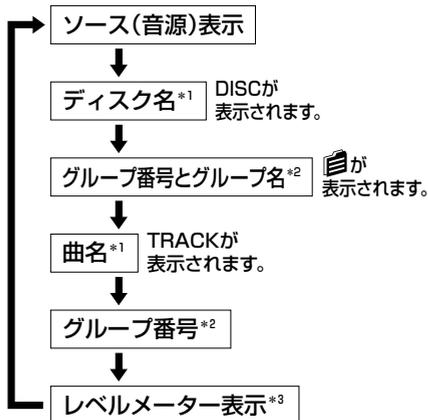
＜お知らせ＞

- MODEボタンの使いかたについては、41ページをご覧ください。

MD演奏中の表示内容を変える



DISPボタンを押すごとに、表示内容を変えることができます。



- * 1 記録されていないMDでは「NO NAME」表示になります。
- * 2 グループ分けされていないMDでは表示されません。
- * 3 「レベルメーターの表示切換」でレベルメーター[3]または[4]を選んでいるときのみ表示されます(⇒P.100ページ参照)。

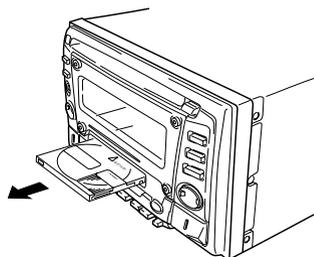
〈お知らせ〉

- ディスク名やグループ名、曲名は英数字、カタカナ、ひらがな、漢字、記号がスクロール表示されます。
DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます。またグループ名がスクロール表示される時、グループ番号(G01など)も表示されます。
- スクロール表示は、自動で1回スクロールする状態：ONCE(お買い上げ時の状態)になっています。AUTO(自動)またはOFF(切)に変えることもできます。⇒P.100ページ参照
- 文字表示については、漢字、英数字・カタカナ、ひらがなが表示されます。ただし、英数字、カタカナ、一部の記号は半角で表示されます。(シフトJIS第三水準以上の文字は表示されません)

MDを取り出す



MD▲(取出し)ボタンを押します。「MD EJECT」が表示され、MDが出てきます。MDを入れる前のソース(音源)に戻ります。



〈お知らせ〉

- エンジンキーが「OFF」のときでもMDは取り出せます。この場合、MDが出てきたあと自動的に電源が切れます。

MDの盗難防止

MDを他の人が取り出せないようにすることができます。



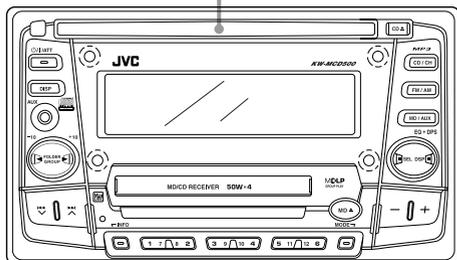
- 「MD EJECT」が点滅表示され、MDの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると「EJECT OK」が点滅表示され、MDの取り出しができるようになります。

〈お知らせ〉

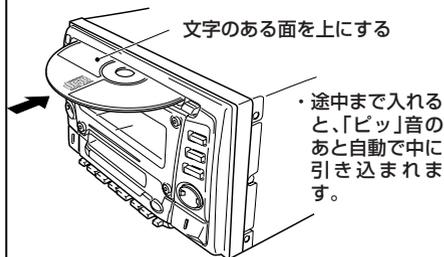
- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと盗難防止機能は解除されます。

CDを聞く

1

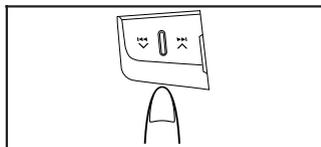


1 CDを入れる→ソース(音源)が「CD」になり演奏スタート



- ・「**---** **PLAY**」表示中は、CDのデータを読み込んでいます。終わると総曲数と総演奏時間表示に変わり、1曲目から演奏がスタートします。なおCD-RWディスクのときは、多少時間がかかります。
- ・CDが入っていることを表すが表示されません。

- CD演奏中に電源を切ったときは電源を入れると、自動的に演奏がスタートします。



曲の頭出し (スキップ)  : 押すごとに次の曲の頭に移ります。

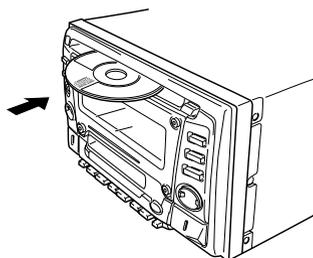
 : 演奏中の曲の頭に戻ります。押すごとに前の曲の頭に戻ります。

早送り・早戻し (サーチ)  : 押し続けている間早送りされます。

 : 押し続けている間早戻しされます。演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。

● 8センチCDの入れかた

8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し入れて入れます。



<お知らせ>

- 文字のある面に  または 、 のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。
- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを演奏するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることを確かめください。

CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理がされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクおよびMP3ディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RWディスクは、反射率が他のCDより低いためCDの演奏がスタートするまで時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクは、高温多湿な環境に弱いため車内に放置すると、記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- CDテキストを入力したCD-R/CD-RWディスクは、テキスト内容により演奏するまでに時間がかかることがあります。
- CD-R/CD-RWディスクにCDテキストを入力した場合、お客様の使用環境(PCやCD-R/-RWドライブ、ライティングソフト)によっては本機に正しく表示されないことがあります。

〈お知らせ〉

- 英数字、カタカナおよび一部の記号などは、半角で表示されます。
(シフトJIS第三水準以上の文字は表示されません)

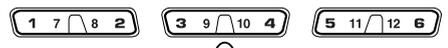
CDテキストについて



本機でCDテキスト対応のCDを演奏するとアルファベットや数字および漢字で「CDテキスト」データを表示します。DISPボタンを押すと表示が変わります。

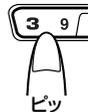
ダイレクト演奏

演奏中に別の曲がダイレクトに選べます。



- 1～6曲目
数字ボタンを「ポン」と押します。
- 7～12曲目
数字ボタンを1秒以上押します。

例：3曲目のとき

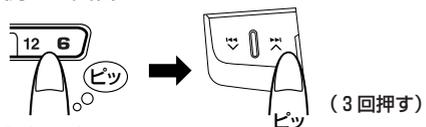


例：12曲目のとき



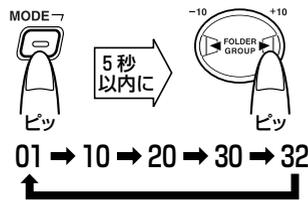
- 13曲目以上は
▶▶ボタンを併用します。

例：15曲目



- 1秒以上押す。
またMODEボタンと+10(または-10)ボタンを使うと、前後10曲ずつダイレクトに選べます。

例：32曲入りCDのとき



- MODEボタンを押すと+10と-10が点滅表示されます。
- MODEボタンを押したあと+10ボタンを押すと、このような頭出しができます。-10ボタンを押すと、逆に選べます。

〈お知らせ〉

- 曲数が10曲に足りないときは、最後の曲が選ばれます。
- +10ボタン(または-10ボタン)をくり返して押すときは、2秒以上間隔を空けないで押してください。

CDを聞く(つづき)

リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



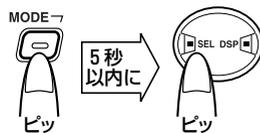
- MODEボタンを2回押して「REPEAT」を表示させ、SELボタンを押す。

— TRACK RPT —

- 表示窓に「RPT」が表示され、1曲リピート演奏になります。
- 解除するときは、もう一度同じ操作をします。「REPEAT OFF」が表示されます。

イントロスキャン

聞きたい曲が素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲が見つかったら◀◀ボタンを押します。



- MODEボタンを4回押して「INTRO」を表示させ、SELボタンを押す。

— TRACK INT —

- イントロスキャン中の曲の曲番号が点滅します。
- 途中でイントロスキャンを解除するときは、もう一度同じ操作をします。「INTRO OFF」が表示されます。
- 一通りイントロスキャンが終わると解除されます。

ランダム演奏

CDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



- MODEボタンを3回押して「RANDOM」を表示させ、SELボタンを押す。

— DISC RND —

- 表示窓に「RND」が表示され、ランダム演奏になります。
- 解除するときは、もう一度同じ操作をします。「RANDOM OFF」が表示されます。

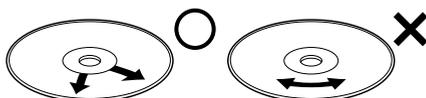
〈お知らせ〉

- MODEボタンの使いかたについては、41ページをご覧ください。

CD(コンパクトディスク)のお手入れ

CDを挿入する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側にかけてください。

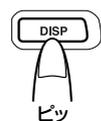


必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因になります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

CD演奏中の表示内容を変える



DISPボタンを押すごとに、表示内容を変えることができます。



- * 1 記録されていないCDでは「NO NAME」表示になります。
- * 2 「レベルメーターの表示切換」でレベルメーター[3]または[4]を選んでおられるときのみ表示されます(⇒89ページ参照)。

〈お知らせ〉

- ディスク名や曲名はスクロール表示されます。DISPボタンを1秒以上押ししたときもスクロール表示されます。
- スクロール表示は、自動で1回スクロールする状態：ONCE(お買い上げ時の状態)になっています。AUTO(自動)またはOFF(切)に変えることもできます。
⇒89ページ参照
- CDテキストの文字表示については、漢字、英数字、カタカナ、ひらがなが表示されます。ただし、英数字、カタカナ、一部の記号は半角で表示されます。

ご注意

- CDの取り出しができないときは
万一、CDの取り出しができないときは

OFF/ATT



押したまま...



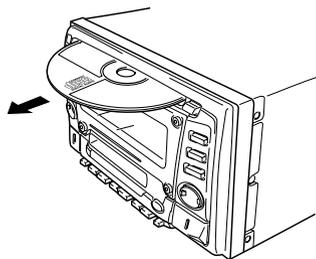
同時に2秒以上押す。

- CDが出てきますので落とさないよう、ご注意ください。

CDを取り出す



CD▲(取出し)ボタンを押すと、「CD EJECT」が表示されCDが出てきます。CDを入れる前のソース(音源)に戻ります。



(CDを取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動で中に引き込まれます)

〈お知らせ〉

- エンジンキーが「OFF」のときでもCDは取り出せます。この場合、CDを取り出すと自動的に電源が切れます。

CDの盗難防止

CDを他の人が取り出せなくすることができます。



押したまま...



同時に2秒以上押す。

- 「CD ~~CH~~」が点滅表示され、CDの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると、「EJECT OK」が点滅表示されCDの取り出しができるようになります。

〈お知らせ〉

- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと盗難防止機能は解除されます。

MP 3 について

MP 3 とは

MP 3 (MPEG Audio Layer 3 の略)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

MP 3 を使用すれば、元の音楽データを約10分の1に圧縮できます。詳しくは別冊の「音楽用ファイルMP 3 Q&A集」をご覧ください。

●再生できるメディア

本機はMP 3 形式のCD-ROMまたはお客様が編集されたCD-R(レコーダブル)、CD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。

ディスクはISO9660レベル1およびレベル2およびJolietでフォーマットされたものが再生可能です。本機ではマルチセッション対応で記録したディスクも再生できます。必ずセッションクローズ処理をしてください。

●ID 3 Tagについて

ID 3 Tagのバージョン1.0と1.1(アルバム名、アーティスト名および曲タイトル)を表示することができます。文字種は英数字、ひらがな、カタカナ、漢字です。なお、ID 3 Tagのバージョン2には対応していません。

●ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角・全角の英数字、カタカナ、一部の記号および全角のひらがな、漢字で入力してください。これ以外で入力されていると正常に表示されません。また、MP 3 ファイルと認識されて再生できるファイルは、MP 3 の拡張子(.MP 3)がついたものだけです。

〈お知らせ〉

- 拡張子(.MP 3)は、必ず半角で入力してください。全角で入力すると、MP 3 ファイルとして認識されません。
- 詳しくは、別冊の「音楽用ファイルMP 3 Q&A集」もご覧ください。

●使用できるディスクのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。

フォーマット名の後ろの文字数は、ファイル名につけられる最大文字数(区切り文字“.”と拡張子*MP 3を含む)でISO9660では1バイト文字を使用したときの文字数です。

- ISO9660レベル1 : 12文字
- ISO9660レベル2 : 31文字
- Joliet : 64文字

ただし本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 最大フォルダ階層 : 8 階層
- フォルダ/ファイルの最大総数 : 289

上記のフォーマット以外で書き込まれたMP 3 ファイルは、正常に再生できなかったりファイル名/フォルダ名が正しく表示されないことがあります。

またライティングソフトによってフォーマットの設定方法が異なることがあります。このようなときは、ライティングソフトのフォーマット設定をもう一度確認のうえ、その取扱説明書に従って正しく設定し直してください。

* 拡張子とは
ファイルの種類や記録形式を見分けるために、ファイル名につけられる文字列のこと。

●圧縮ソフトとライティングソフトの設定

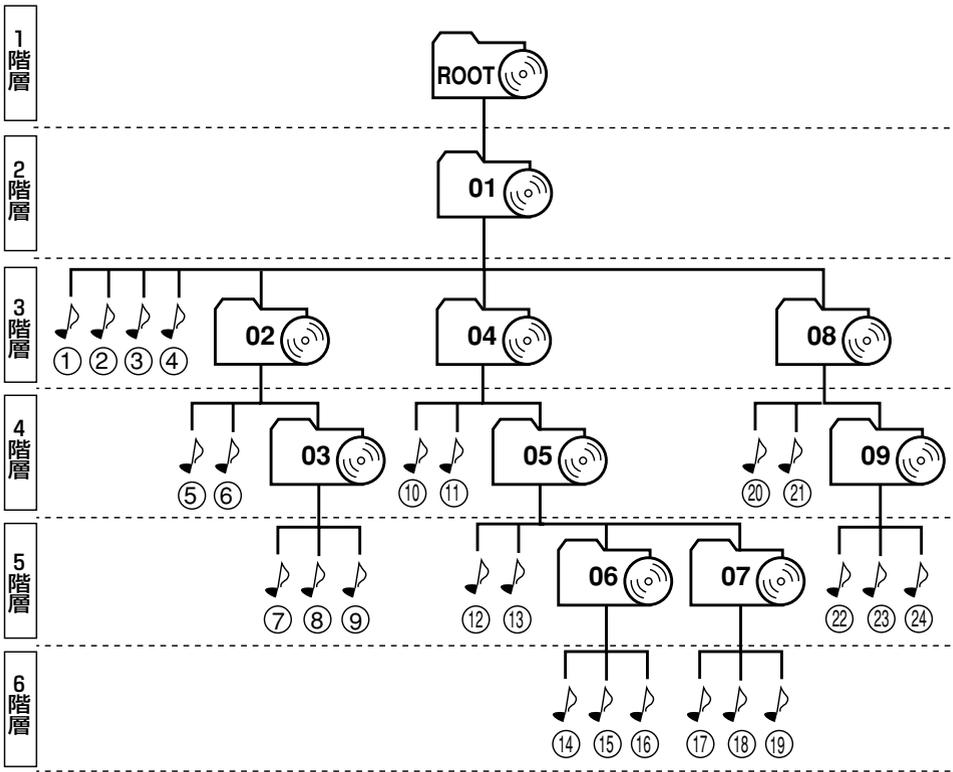
MP 3 ファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は「128kbpsの固定」を推奨します。また最大容量まで記録するときは、追記禁止の設定をしてください。

何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録するときは「Disc at Once」の設定をしてください。

〈お知らせ〉

- 詳しくは、別冊の「音楽用ファイルMP 3 Q&A集」もご覧ください。

MP3フォルダ／MP3ファイルの演奏順序



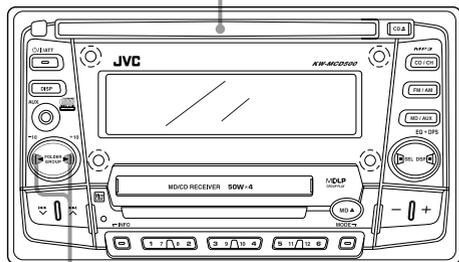
	ルート
	フォルダ
	MP3ファイル (トラック)

〈お知らせ〉

- ルートとは、現在開いているMP3ディスクの最上階層のフォルダのことです。
- 同一階層内のフォルダやファイルは、ライティングソフトによってMP3ディスクに書き込まれた順序で演奏されます。一般的には名前の数字・アルファベット順に書き込まれるためフォルダ名、ファイル名の初めに数字(01A, 01B…)などをつけると、演奏順序を指定できることがあります。

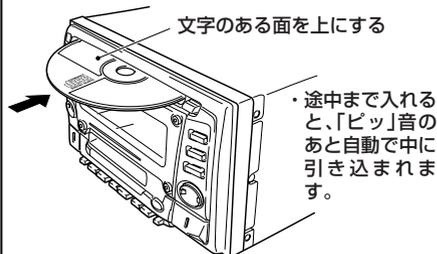
MP3ディスクを聞く

1



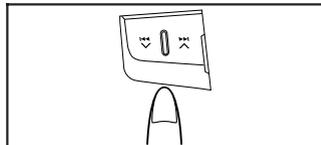
FOLDERボタン

1 CDを入れる⇒ソース(音源)が「CD」になり演奏スタート



- ・「**PLAY**」表示中は、CDのデータを読み込んでおり、「FILE CHECK」点滅表示のあと、フォルダ数とMP3ファイル数表示に変わり演奏がスタートします。
- ・CDが入っていることを表すが表示されます。ソース(音源)を表すが表示されます。

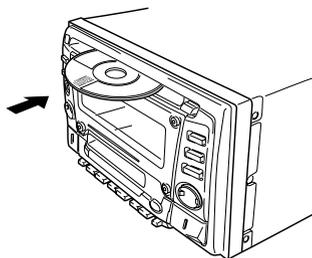
- CD演奏中に電源を切ったときは電源を入れると、自動的に演奏がスタートします。



ファイルの頭出し (スキップ)	▶▶ : 押すごとに次のファイルの頭に移ります。 ◀◀ : 演奏中のファイルの頭に戻ります。押すごとに前のファイルの頭に戻ります。
早送り・早戻し (サーチ)	▶▶ : 押し続けている間早送りされます。 ◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。 演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。

● 8センチCDの入れかた

8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し込んで入れます。

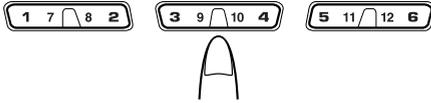


〈お知らせ〉

- 多くの階層を持つディスクやCD-RWに記録したディスク、マルチセッションディスクでは再生が始まるまで時間がかかります。
- 階層化したフォルダのあるディスクは、8階層まで再生できます。

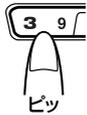
ダイレクト演奏 (ダイレクトフォルダアクセス機能)

演奏中に聞きたい曲(ファイル)が入っているフォルダに合わせて数字ボタンを押します。すぐそのフォルダに移り演奏がスタートします。



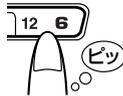
• フォルダ 01～06
数字ボタンを「ポン」と押します。

例：フォルダ 03
のとき



• フォルダ 07～12
数字ボタンを1秒以上押します。

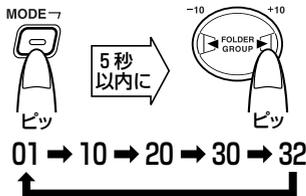
例：フォルダ 12
のとき



• 1秒以上押す。

またMODEボタンと+10(または-10)ボタンを使うと、フォルダ内で前後10曲ずつダイレクトに選べます。

例：32曲入りフォルダのとき

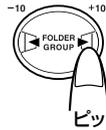


- MODEボタンを押すと+10と-10が点滅表示されます。
- MODEボタンを押したあと+10ボタンを押すと、このような頭出しができます。-10ボタンを押すと、逆に選べます。10曲に足りないときは、最後の曲が選ばれます。

〈お知らせ〉

- MP3 ディスクのフォルダ名の頭に2ケタの数字(01A, 02A...など)をつけておかないとダイレクト演奏はできません。
- フォルダを選択中に、MP3表示が点滅するとき、そのフォルダにMP3ファイルが含まれておりません。MP3ファイルが含まれているフォルダを選んでください。

次または前のフォルダにスキップする

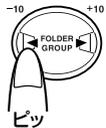
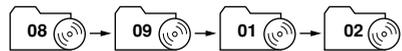


FOLDERボタンの▶側を押すごとに、次のMP3を含むフォルダにスキップします。

- MP3 ファイルのフォルダ 3 を演奏中のとき



- MP3 ファイルのフォルダ 8 を演奏中のとき



FOLDERボタンの◀側を押すごとに、前のMP3を含むフォルダにスキップします。

- MP3 ファイルのフォルダ 1 を演奏中のとき



- MP3 ファイルのフォルダ 4 を演奏中のとき



〈お知らせ〉

- 27ページの「MP3フォルダ/MP3ファイルの演奏順序」と一緒にご覧ください。

MP3ディスクを聞く(つづき)

リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中のファイルをくり返して聞くことができます。



- MODEボタンを2回押して「REPEAT」を表示させる。SELボタンを押すごとに次のように動作します。



イントロスキャン

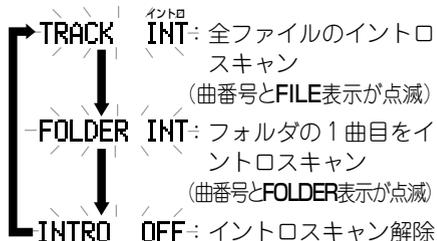
聞きたいファイルが素早く探せます。ファイルの頭を15秒ずつ演奏していきま

す。

聞きたいファイルが見つかったら◀◀ボタンを押します。



- MODEボタンを4回押して「INTRO」を表示させる。SELボタンを押すごとに次のように動作します。



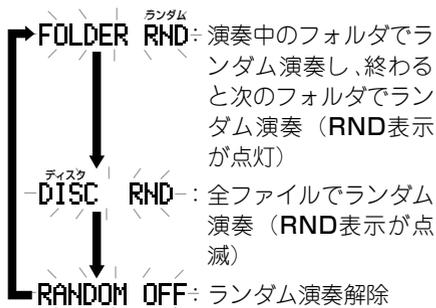
- 一通りイントロスキャンが終わると解除されます。

ランダム演奏

MP3ディスクの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



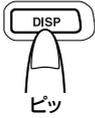
- MODEボタンを3回押して「RANDOM」を表示させる。SELボタンを押すごとに次のように動作します。



〈お知らせ〉

- MODEボタンの使いかたについては、41ページをご覧ください。

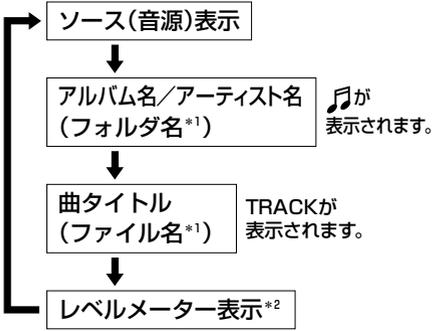
MP3ディスク演奏中の表示内容を変える



・DISPボタンを押すごとに、表示内容を変えることができます。

Tag「オン」のとき(お買い上げの状態)

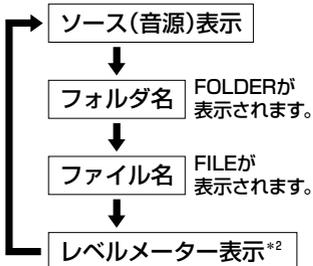
MP3ファイルがID3 Tagを持っていると、ID3 Tagが表示されます。



* 1 MP3ファイルがID3 Tagを持っていないときは、フォルダ名とファイル名が表示されます。

* 2 「レベルメーターの表示切替」でレベルメーター[3]または[4]を選んでいるときのみ表示されます(⇒26ページ参照)。

Tag「オフ」に設定してあるとき



(MP3ファイルがID3 Tagを持っていてもID3 Tagは表示されません)

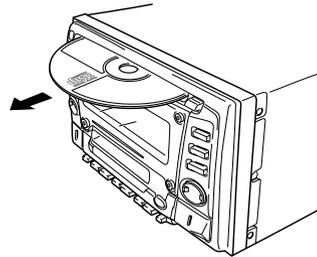
〈お知らせ〉

- 表示窓には全角6文字、半角12文字まで表示できます。
ID3 Tagおよびフォルダ名、ファイル名はスクロール表示されます。
- スクロールのモードについては、29ページの「文字表示のモードを変える」をご覧ください。
- Tag「オン/オフ」については40ページをご覧ください。
- ID3 Tagについては26ページをご覧ください。

CDを取り出す



CD▲(取出し)ボタンを押すと、「CD EJECT」が表示されCDが出てきます。
CDを入れる前のソース(音源)に戻ります。



(CDを取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動で中に引き込まれます)

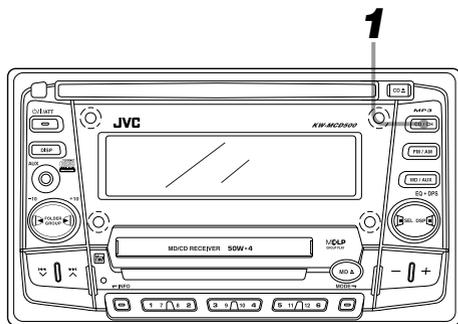
〈お知らせ〉

- エンジンキーが「OFF」のときでもCDは取り出せます。この場合、CDが出てきたあとCDを取り出すと、自動的に電源が切れます。

CDチェンジャーのCDを聞く

- 準備** ● CDチェンジャー内のマガジンに聞きたいCDを入れておきます。

全曲演奏 (全CDのくり返し演奏)



1 CD/CHボタンを押してソース(音源)を「CHANGER」にする⇒演奏スタート



- CDチェンジャー演奏中に電源を「切」にしたときは、止まったときのCDからの演奏がスタートします。
- 最初のCDの演奏が終わると、自動で次のCDの演奏になります。マガジン内の全CDのくり返し演奏になります。

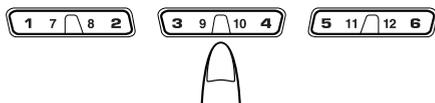
● 演奏を途中でやめる

FM/AMボタンやMD/AUXボタンなどを押して他のソース(音源)に切替えます。または電源を「切」にします。

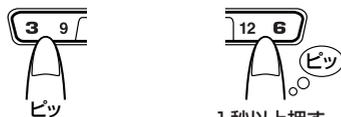
曲の頭出し (スキップ)	▶▶ : 押すごとに次の曲の頭に移ります。 ◀◀ : 演奏中の曲の頭に戻ります。押すごとに前の曲の頭に戻ります。
早送り・早戻し (サーチ)	▶▶ : 押し続けている間早送りされます。 ◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。 演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。

数字ボタンでCDを選ぶ

聞きたいCDが数字ボタンでダイレクトに選べます。選んだCDの1曲目から聞けます。



- 1～6 枚目
数字ボタンを「ポン」と押します。
例：3 枚目のとき
- 7～12枚目
数字ボタンを1秒以上押します。
例：12枚目のとき



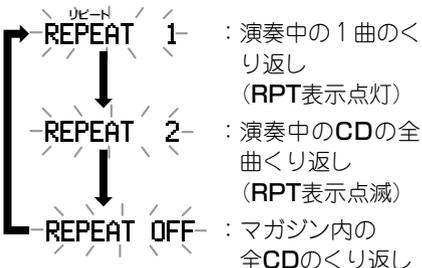
- 1秒以上押す。

リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。

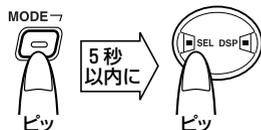


- MODEボタンを1回押して「REPEAT」を表示させる。SELボタンを押すごとに次のように動作します。

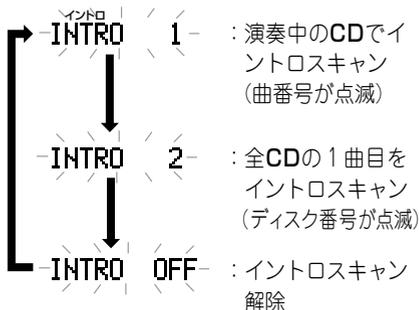


イントロスキャン

聞きたい曲やCDが素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲またはCDが見つかったら◀◀ボタンを押します。



- MODEボタンを3回押して「INTRO」を表示させる。SELボタンを押すごとに次のように動作します。



ランダム演奏

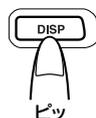
CDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



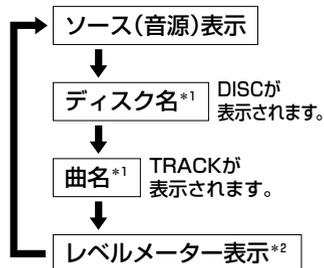
- MODEボタンを2回押して「RANDOM」を表示させる。SELボタンを押すごとに次のように動作します。



CD演奏中の表示内容を変える



DISPボタンを押すごとに、表示内容を変えることができます。



* 1 ディスク名または曲名が記録されていないと、「NO NAME」が表示されそのあと「CD番号および曲番号と演奏経過時間」の表示に変わります。

* 2 「レベルメーターの表示切換」でレベルメーター[3]または[4]を選んでいるときのみ表示されます(⇒33ページ参照)。

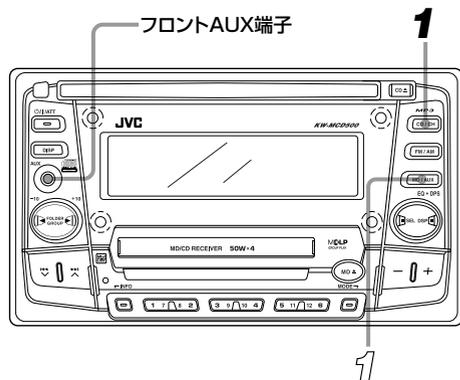
〈お知らせ〉

- MODEボタンの使いかたについては、41ページをご覧ください。

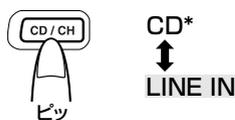
他の機器の音を聞く

CDチェンジャー端子を使うとき

- 準備**
- 変換コード：KS-U57(別売り)を使ってCDチェンジャー端子にカーAV機器を接続しておきます。→別紙の取付説明書参照
 - CD/CHボタンのモードを「LINE」に切替えておきます。
→34ページ参照



- 1** CD/CHボタンを押してソース(音源)を「LINE-IN(ライン入力)」にする



*本機にCDが入っているときのみ

- ・表示窓が「LINE INPUT」表示に変わります。

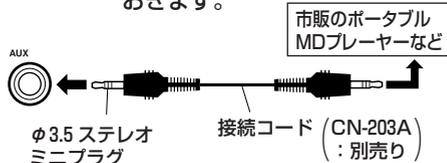


〈お知らせ〉

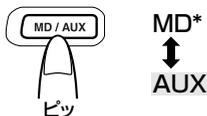
- 接続ができる他の機器は、RCAの2チャンネル出力端子付のものを用意してください。接続する機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく配線してください。
- すでにCDチェンジャーを接続しているときは、LINE INPUTがご利用になれません。

フロントAUX端子を使うとき

- 準備**
- フロントAUX端子にポータブルMDプレーヤーなどを接続しておきます。



- 1** MD/AUXボタンを押してソース(音源)を「AUX」にする



*本機にMDが入っているときのみ

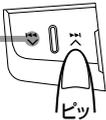
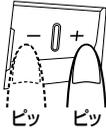
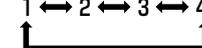
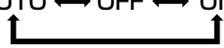
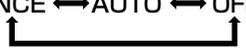
- ・表示窓が「AUX INPUT」表示に変わります。

- 2** 接続した機器を演奏状態にする

- ・接続した機器に音量調節があるときは、CDなどの演奏音と同じ程度に聞こえるように調節してください。
- ・フロントAUXの音が小さいときは、SELボタンを使って「AUX アジャスト」を選び入力感度を調節します。→34ページ参照

SELボタンの使いかた

●SELボタンのモード一覧

1 SELボタンを 2秒以上押す 	2 >>> (または <<<) ボタンでモードを選ぶ  モードが逆 に選べます。	3 設定する 	参 照 ページ	
時刻設定 [HOUR] ↓ 時刻設定 [MIN] ↓ パワーオフ時計 ↓ レベルメーター ↓ BEEP音 ↓ DIMMER切替 ↓ ステーションエリア ↓ コントラスト調節 ↓ 文字スクロール ↓ EXT IN切替* ↓ AUXアジャスト ↓ ID3 Tag表示	初期設定値	1 → 12 → 11 → ……	1 → 2 → 3 → ……	13
	1 : 00	00 → 59 → 58 → ……	00 → 01 → 02 → ……	
	[OFF]	[OFF]	[ON]	36
	レベル [2]	レベル 1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4 		
	[ON]	[OFF]	[ON]	37
	[AUTO]	AUTO ↔ OFF ↔ ON 		
	エリアナシ	エリアナシ ↔ 北海道 ↔ 東北 ↔ 関東 ↓ ↓ ↓ ↓ 沖縄 九州 ↔ 四国 ↔ 中国 ↔ 近畿 ↓ ↓ ↓ ↓ 中部 近畿		38
	05	00 ~ 05 ~ 10		
	[ONCE]	ONCE ↔ AUTO ↔ OFF 		39
	[CD CH]	[CD CH]	[LINE]	
	00	00 ~ 05		40
	[ON]	[OFF]	[ON]	

*現在のソース(音源)が「CHANGER」または「LINE INPUT」のときは、表示されません。

〈お知らせ〉

- <<< ボタンを押すとSELボタンのモードは逆に選べます。
- 各操作は、15秒以上間隔を空けないでください。
- 設定ができたあとは、SELボタンを押して終了します。SELボタンを押さないときは、15秒後に自動で終了します。
- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、設定した内容は初期設定に戻ります。

他の機器の音を聞く・SELボタンの使いかた

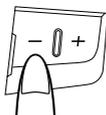
ビープ音を「オン/オフ」する

ボタン操作時の「ピッ」音を出なくすることができます。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▶▶I(またはI◀◀)ボタンを数回押して「BEEP音」を選ぶ

3 +、- (音量) ボタンの一側を押して[OFF]にする



[ON] : ビープ音「オン」

[OFF] : ビープ音「オフ」

・BEEP音[ON]に戻すときは、+側を押します。

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- SELボタンを使った各種の設定ができたあとは、SELボタンを押して終了します。SELボタンを押さないときは、15秒後に自動で終了します。

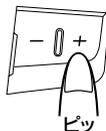
表示窓の明るさを変える

表示窓の明るさを状況に応じて変えることができます。

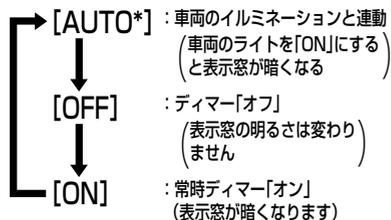
1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▶▶I(またはI◀◀)ボタンを数回押して「DIMMER切替」を選ぶ

3 +、- (音量) ボタンを押してディマーのモードを選ぶ



・一側を押すと逆に選べます。



*ディマー[AUTO]で使うときは、本機のイルミネーションコードを車両のイルミ電源に接続しておきます。

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

SELボタンの使いかた(つづき)

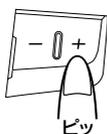
放送局名を自動で表示させる

ご利用になる地域の放送局を受信したとき、自動で放送局名を表示させることができます。

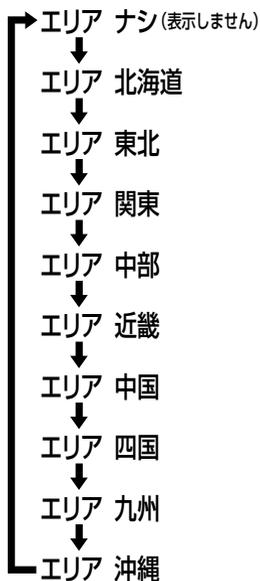
1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▶▶I(またはI◀◀)ボタンを数回押して「ステーションエリア」を選ぶ

3 +、-(音量)ボタンを押してご利用の地域を選ぶ



・一側を押すと、逆を選べます。



4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

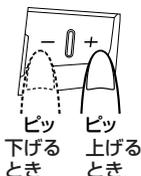
表示窓のコントラストを調節する

表示窓の表示が見にくいときは、コントラストを調節します。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▶▶I(またはI◀◀)ボタンを数回押して「コントラスト調節 05」を選ぶ

3 +、-(音量)ボタンを押してコントラストを調節する



・「01~05~10」の範囲で調節できます。運転席から表示窓がよく見えるように調節します。

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- 地域ごとの「放送局名一覧」は62~65ページをご覧ください。

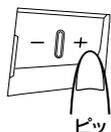
文字表示のモードを変える

表示窓の文字表示がスクロール表示されるとき、モードを変えることができます。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▶▶I(またはI◀◀)ボタンを数回押して「文字スクロール」を選ぶ

3 +、- (音量)ボタンを押してスクロールのモードを選ぶ



・一側を押すと逆に選べます。



4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

CD/CHボタンのモードを変える

CDチェンジャー端子に他の機器を接続したときは、「LINE」に切換えます。

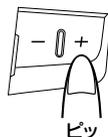
1 ソース(音源)を「ラジオ」にする

・ソース(音源)が「CHANGER」のままでは、この操作はできません。

2 SELボタンを2秒以上押す

3 ▶▶I(またはI◀◀)ボタンを数回押して「EXT IN切替」を選ぶ

4 +、- (音量)ボタンの+側を押して[LIN]にする



・「CD CH」に戻すときは、一側を押します。

[CD CH] : CDチェンジャーをつないだとき

[LINE] : 他の機器をつないだとき

5 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- 放送局名は、スクロール表示されません。

SELボタンの使いかた(つづき)

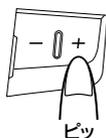
フロントAUXの入力感度を上げる

フロントAUX端子の入力感度を調節することができます。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▶▶I(またはI◀◀)ボタンを数回押して「AUX エーユ-エックス アジャスト」を選ぶ

3 +、-(音量)ボタンの+側を押して入力感度を調節する



- ・00~05の範囲で調節できます。
- ・入力感度を下げるときは-側を押します。

4 SELボタンを押す

- ・元のソース(音源)の表示に戻ります。

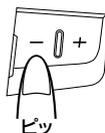
ID3 Tag表示を「オン/オフ」する

MP3 ディスクのID3 Tag表示を「オン/オフ」することができます。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▶▶I(またはI◀◀)ボタンを数回押して「ID3 Tag表示」を選ぶ

3 +、-(音量)ボタンの-側を押して「ID3 Tag表示[OFF]」にする



[ON] : ID3 Tagを表示するとき

[OFF] : ID3 Tagを表示しないとき

- ・「ID3 Tag表示[ON]」に戻るときは+側を押します。

4 SELボタンを押す

- ・元のソース(音源)の表示に戻ります。

MODEボタンの使いかた



3(+10,-10ボタン) 3(数字ボタン) 2

1 各ボタンを押してソース(音源)を選ぶ

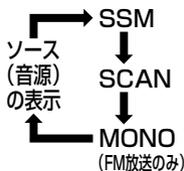
・「ラジオ」、「MD」または「CD/CDチェンジャー」のいずれかを選びます。またはMDがCDを本機に入れます。
 (「AUX」または「LINE」のときは、MODEボタンが働きません)

2 MODEボタンを押して使いたいモードを選ぶ

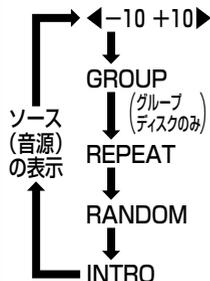


・押すごとにモードが変わります。各操作は5秒以上間隔を空けないでください。

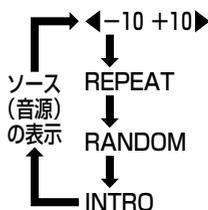
ラジオ (FM/AM)



MD



CD/MP3ディスク



CDチェンジャー

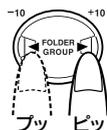


5秒以内に

3 設定する



- ・SSM → 14ページ参照
- ・SCAN } → 16ページ参照
- ・MONO }
- ・REPEAT } → 20 24 30 33
- ・RANDOM } ページ参照
- ・INTRO }



- ・←-10 +10→ → 19 23 29
- ページ参照

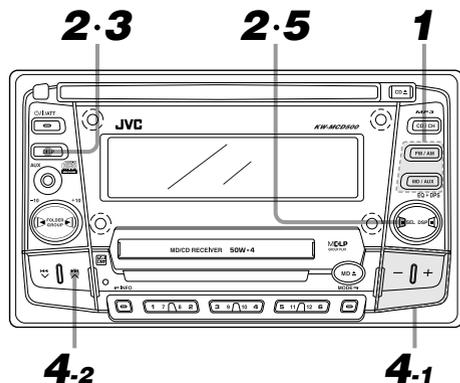


- ・GROUP → 19ページ参照

文字の入力のしかた

文字の入力と修正・削除

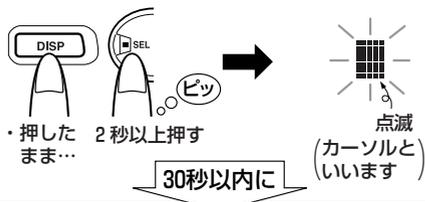
放送局名を32局分／最大12文字、AUXは12文字まで入力できます。



1 FM/AMまたはMD/AUXボタンを押してソース(音源)を「ラジオ」または「AUX」にする

2 DISPボタンを押したままSELボタンを同時に 2 秒以上押す

例：ラジオを選んだとき



3 DISPボタンで文字の種類を選ぶ

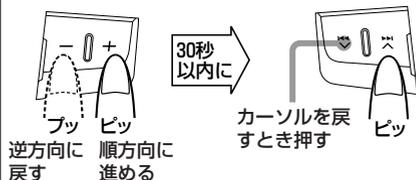


- ・カーソルと文字の種類の間で文字が交互に点滅表示されます。文字の種類については④ページの「文字配列表」をご覧ください。

30秒以内に

4 +、- (音量) ボタンと▶▶▶ ボタンで局名を入力する

(①と②をくり返す)



①文字を選び… ②カーソルを右に移す

- ・文字を間違えたときは、+、- ボタンでカーソルを戻し、+、- (音量) ボタンで正しい文字を上書きします。
- ・スペース(空白)を選んで▶▶▶ ボタンを押すと、文字を消すこともできます。
- ・「AUX INPUT」表示を別の名前に変更するとき、上書きで修正します。

30秒以内に

5 SELボタンを押して文字を確定する



- ・全てスペース(空白)を入力し、確定すると局名を消すことができます。
- ・局名を入力したあとDISPボタンを1秒以上押したときも、全て消すことができます。
- このあとSELボタンを押して確定します。

〈お知らせ〉

- ・文字を確定するときは、必ずSELボタンを押してください。押さないと確定されません。
- ・33局目の放送局名を入力すると、「NAME FULL」が表示されます。

文字配列表

●カタカナ

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ		
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン		
ァ	ィ	ゥ	ヱ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	
ー	。	、	(空白)						

●英大文字

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	(空白)			

●英小文字

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)			

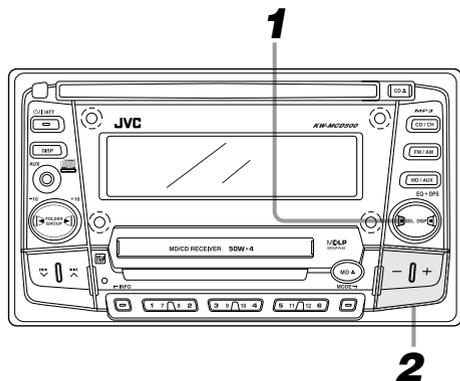
●数字・記号

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
!	”	#	\$	%	’	()	*	
+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	_	`	(空白)					

〈お知らせ〉

- 本機は、この文字配列表以外の文字・記号は入力できません。

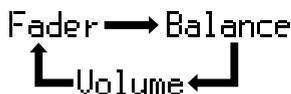
音量・音質の調節



1 SELボタンを押して調節したい項目を選ぶ



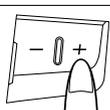
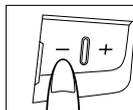
・「ボン・ボン」と押しごとに以下のように変わります。



・音量調節(VOLUME)のみのときは、+、- (音量) ボタン直接押して調節します。

5秒以内に

2 +、- (音量) ボタンを押して音量を調節する



FADER (フェーダー)	フロントの音量が下がる	リアの音量が下がる
BALANCE (バランス)	右チャンネルの音量が下がる	左チャンネルの音量が下がる
VOLUME (音量)	音量が下がる	音量が上がる

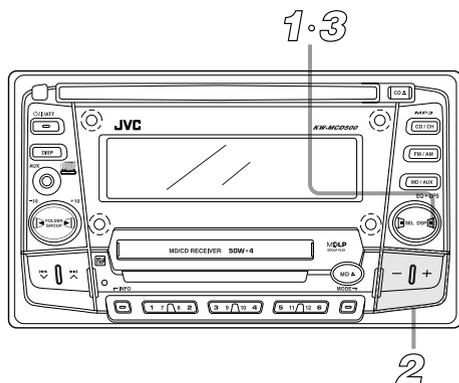
・調節から5秒後に、表示窓は自動で前の表示に戻ります。

● 音量の初期設定状態と調節範囲

	初期設定	設定範囲
FADER(フェーダー)	00(センター)	リア ^{フロント} R06~F06
BALANCE(バランス)	00(センター)	リア ^{フロント} L06~R06
VOLUME(音量)	15	00~50

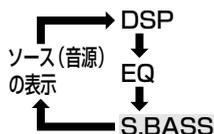
〈お知らせ〉

- フェーダー調節は、4スピーカー接続のときに限り調節してください。
- 調節したレベルが表示窓に表示されます。



重低音を調節する

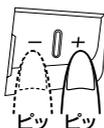
1 DSPボタンを3回押して「S.BASS」を選ぶ



・お買い上げのときは、S.BASS 00が表示されます。

5秒以内に

2 +、- (音量) ボタンを押して重低音を調節する



減衰するとき
増強するとき

・S.BASS 00~
S.BASS 99の範囲で調節できます。

5秒以内に

3 DSPボタンを押す

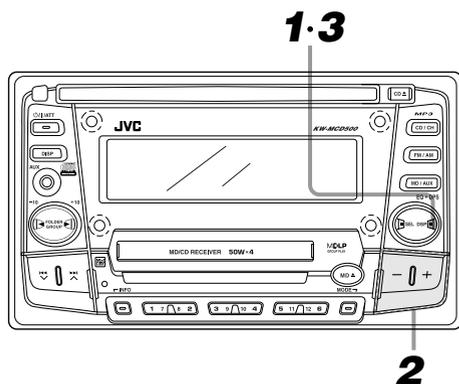
・元のソース(音源)の表示に戻ります。DSPボタンを押さないときは、5秒後に自動で戻ります。

〈お知らせ〉

- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと調節したレベルはS.BASS 00に戻ります。

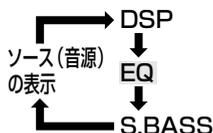
EQ*の使いかた

・本機には、あらかじめ11のEQパターンがメモリーされています。



●EQパターンの呼び出し

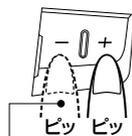
1 DSPボタンを2回押して「EQ」を選ぶ



・「EQ」が表示され、設定されているEQのモード(お買い上げ時は「FLAT」)が変わります。

5秒以内に

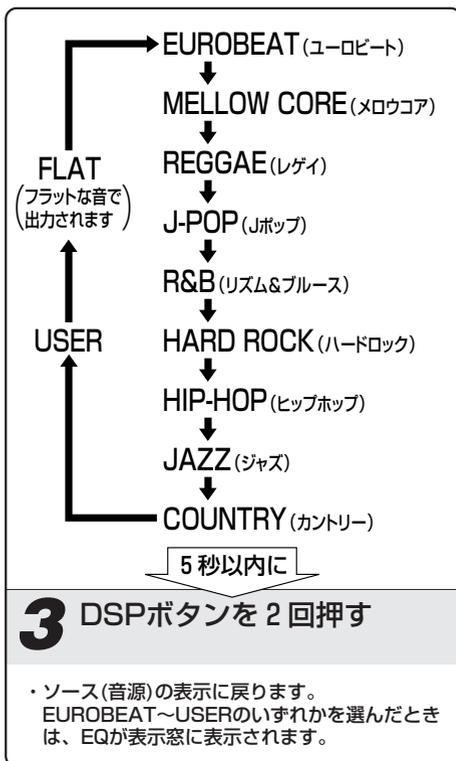
2 +、-(音量)ボタンでEQのモードを選ぶ



逆に選べます。

*EQのパターンが表示窓に表示されます。

・右上のリストは+側のボタンを押したときのEQのモードです。



3 DSPボタンを2回押す

・ソース(音源)の表示に戻ります。EUROBEAT～USERのいずれかを選んだときは、EQが表示窓に表示されます。

＜お知らせ＞

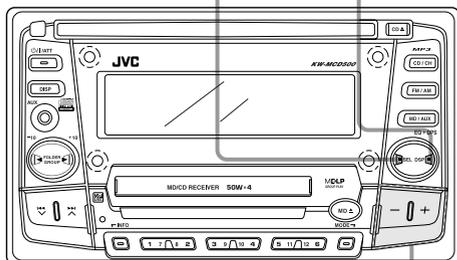
- ・USERには、ご自分で調節したEQパターンがメモリーできます。
→47ページ参照
お買い上げ時はFLATと同じEQパターンになっています。
- ・EUROBEAT～COUNTRYには、ご自分で調節したEQパターンはメモリーできません。
- ・本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと調節したEQパターンはFLATと同じEQパターンに戻ります。

*EQは：

Equalizer(イコライザー)の略で等化器とも呼ばれ、周波数特性に変化を与える回路の総称。

調節したEQをメモリーしておく

2 1・1・5



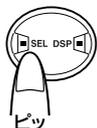
1・2・3

1 DSPを2回押したあと+、- (音量)ボタンを押してEQのモードを選ぶ

→ 46 ページ手順1~2参照

5秒以内に

2 SELボタンで調節したい項目を選ぶ



・押すごとに、各帯域の周波数またはレベルが選べます。

ロー フレクシー 中心周波数
LOW FREQ : 低域 (50/80/120Hz)

レベル
LOW LEVEL : 低域 (0 ±12dB)

ミッド
MID FREQ : 中域 (700Hz/1k/2kHz)

MID LEVEL : 中域 (0 ±12dB)

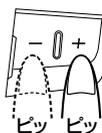
ハイ
HIGH FREQ : 高域 (8kHz/12kHz)

HIGH LEVEL : 高域 (0 ±12dB)

15秒以内に

3 +、- (音量)ボタンで調節する

LOW (低域)	FREQ	50Hz↔80Hz↔120Hz
	LEVEL	-12~-2、0、+2~+12dB
MID (中域)	FREQ	700Hz↔1kHz↔2kHz
	LEVEL	-12~-2、0、+2~+12dB
HIGH (高域)	FREQ	8kHz↔12kHz
	LEVEL	-12~-2、0、+2~+12dB



下げる
とき

上げる
とき

- ・中心周波数は帯域ごとに選べます。調節した内容が表示窓に表示されます。
- ・LEVELは2dBずつ調節できます。

15秒以内に

4 手順2と3をくり返し、各帯域の周波数およびレベルを調節する

15秒以内に

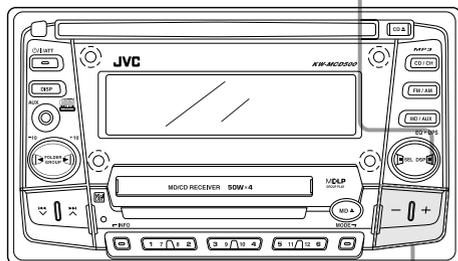
5 DSPボタンを押す

- ・USERにメモリーしておくことができます。
- ・調節したEQのパターンがメモリーされます。手順4の操作のあと15秒以上何もしないと自動でメモリーされます。

DSPの使いかた

- ・本機には、あらかじめ6つの音場がメモリーされています。
ソース(音源)の再生音に合わせて音場を選べば、演奏会場や劇場の雰囲気再現されます。

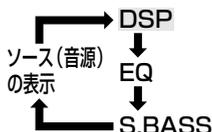
1・3



2

●音場の呼び出し

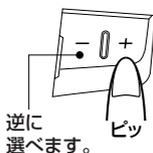
1 DSPボタンを押して「DSP」を選ぶ



- ・DSPが表示され、設定されているDSP(お買い上げ時は「DEFEAT」)が表示されます。

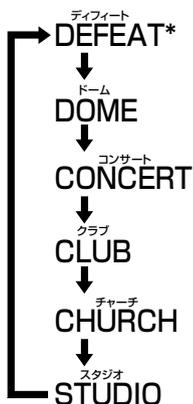
5秒以内に

2 +、- (音量) ボタンを押して音場を選ぶ



- ・DOME～STUDIOを選ぶと、表示窓の右下に音場名が表示されます。

- * DEFEATを選ぶと音場効果のないフラットな音で出力されます。



5秒以内に

3 DSPボタンを3回押す



ソース(音源)の表示に戻ります。

- ・DSPボタンを押さないときは、5秒後に自動でソース(音源)の表示に戻ります。

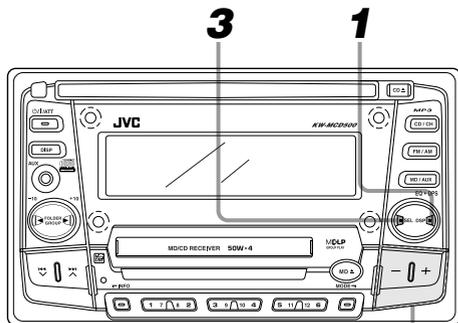
〈お知らせ〉

- 各音場はこんな音楽の再生に使います。

- ・ DOME : ドーム球場などのライブ盤
- ・ CONCERT : コンサートのライブ盤など
- ・ CLUB : ヘビーメタルやロックバンドの演奏など
- ・ CHURCH : バロック音楽など
- ・ STUDIO : 録音スタジオでのライブ盤など

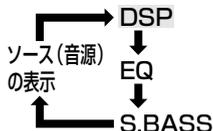
リスニングポジションの設定

聞く位置に合わせてリスニングポジションを選ぶことにより、DSPの効果が改善されます。



2・4

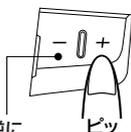
1 DSPボタンを押す



・DSPが表示され、設定されているDSP(お買い上げ時は「DEFEAT」)が表示されます。

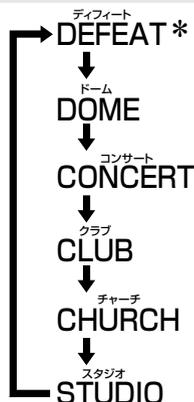
5秒以内に

2 +、-(音量)ボタンを押して音場(DOME~STUDIO)を選ぶ



逆に選べます。

*DEFEATを選んだときは、リスニングポジションを設定することはできません。



5秒以内に

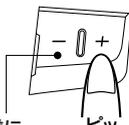
3 SELボタンを押してフォーカスのモードにする



・お買い上げ時はシート表示が「Seat P. ALL」が表示されます。

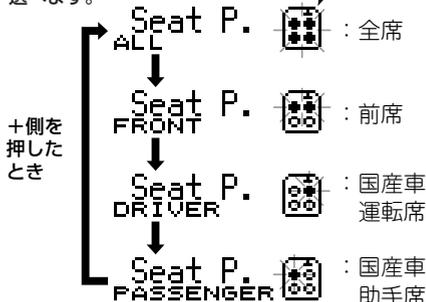
5秒以内に

4 +、-(音量)ボタンでリスニングポジションを選ぶ



逆に選べます。

シート表示



〈お知らせ〉

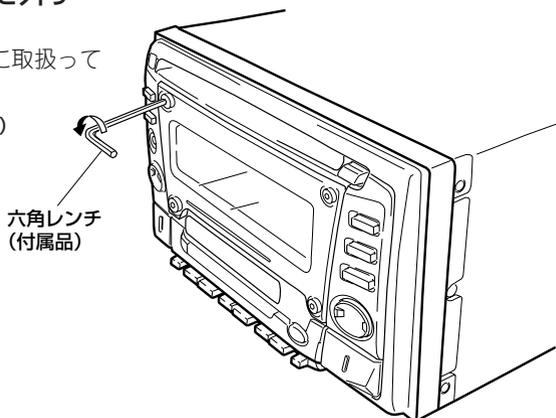
- ・リセットボタンを押すと、「Seat P. ALL」に戻ります。

カスタマイズプレートの着せ替え

1 六角レンチでネジ 4 本を外す

- ・外したネジを紛失しないように取扱ってください。

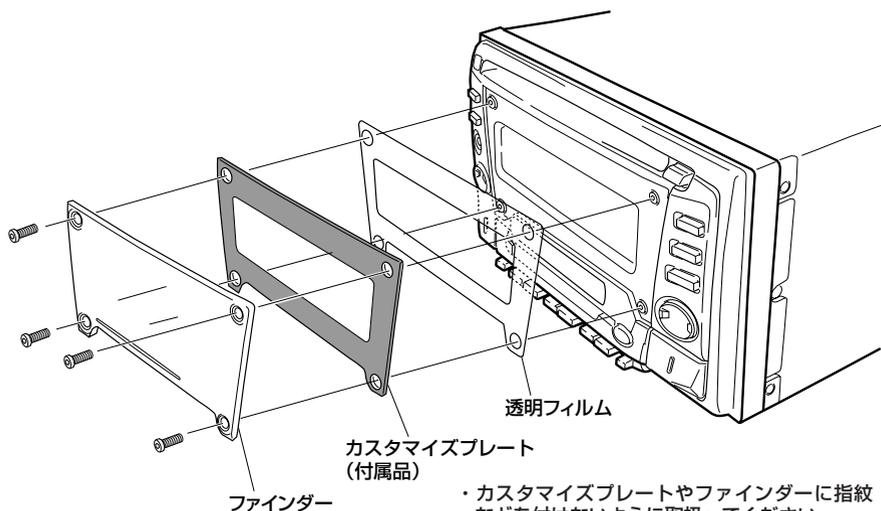
(予備のネジが 2 本付属してあります)



2 ファインダーとカスタマイズプレートを取り外す

- ・内側にプレートがあります。一緒に取り外します。

3 カスタマイズプレートをファインダーと一緒に本体にはめ込む



- ・カスタマイズプレートやファインダーに指紋などを付けないように取扱ってください。また、必ずカスタマイズプレートをファインダーより先にはめ込んでください。

4 ネジ 4 本で元通りに固定する

- ・ネジを締付けすぎないようにして固定してください。

お手入れ

本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶ**きしてください。

汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶ**きしてください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。



放送局名一覽

	放送局名	場所	周波数
北海道(FM)	AIR-G'	札幌	80.4MHz
	FMノースウェーブ	〃	82.5MHz
	NHK-FM	〃	85.2MHz
	〃	旭川	85.8MHz
	〃	北見	86.0MHz
	〃	函館	87.0MHz
北海道(AM)	NHK第1	札幌	567kHz
	〃	釧路	585kHz
	〃	帯広	603kHz
	〃	旭川	621kHz
	STVラジオ	函館	639kHz
	NHK第1	〃	675kHz
	NHK第2	北見	702kHz
	〃	札幌	747kHz
	HBCラジオ	旭川	864kHz
	〃	室蘭	864kHz
	STVラジオ	釧路	882kHz
	HBCラジオ	函館	900kHz
	STVラジオ	網走	909kHz
	NHK第1	室蘭	945kHz
	STVラジオ	帯広	1,071kHz
	NHK第2	室蘭	1,125kHz
	〃	帯広	1,125kHz
	〃	釧路	1,152kHz
NHK第1	北見	1,188kHz	
STVラジオ	旭川	1,197kHz	
HBCラジオ	帯広	1,269kHz	
HBCラジオ	札幌	1,287kHz	
〃	稚内	1,368kHz	
〃	釧路	1,404kHz	
STVラジオ	札幌	1,440kHz	
HBCラジオ	網走	1,449kHz	
NHK第2	函館	1,467kHz	
HBCラジオ	名寄	1,494kHz	
NHK第2	旭川	1,602kHz	

	放送局名	場所	周波数
東北海道(FM)	FM岩手	盛岡	76.1MHz
	FM仙台	仙台	77.1MHz
	エフエム青森	青森	80.0MHz
	FM山形	山形	80.4MHz
	ふくしまFM	郡山	81.8MHz
	NHK-FM	山形	82.1MHz
	〃	仙台	82.5MHz
	FM秋田	秋田	82.8MHz
	NHK-FM	盛岡	83.1MHz
	〃	福島	85.3MHz
東北海道(AM)	〃	青森	86.0MHz
	〃	秋田	86.7MHz
	NHK第1	盛岡	531kHz
	〃	山形	540kHz
	IBC岩手放送	盛岡	684kHz
	NHK第2	秋田	774kHz
	NHK第1	仙台	891kHz
	山形放送	山形	918kHz
	秋田放送	秋田	936kHz
	NHK第1	青森	963kHz
NHK第2	仙台	1,089kHz	
青森放送	青森	1,233kHz	
東北放送	仙台	1,260kHz	
関東(AM)	NHK第1	福島	1,323kHz
	NHK第2	盛岡	1,386kHz
	ラジオ福島	福島	1,458kHz
	NHK第1	秋田	1,503kHz
	NHK第2	山形	1,521kHz
	AFN	三沢	1,575kHz
	NHK第2	福島	1,602kHz
	インターネットFM	東京	76.1MHz
	FM栃木	宇都宮	76.4MHz
	放送大学	東京	77.1MHz
BAY-FM	船橋	78.0MHz	
FM-FUJI	三ツ峠	78.6MHz	
関東(FM)	放送大学	前橋	78.8MHz
	NACK 5	さいたま	79.5MHz
	TOKYO FM	東京	80.0MHz
	NHK-FM	宇都宮	80.3MHz
	〃	千葉	80.7MHz

	放送局名	場所	周波数
関東地方(FM)	J-WAVE	東京	81.3MHz
	NHK-FM	前橋	81.6MHz
	∕	横浜	81.9MHz
	∕	東京	82.5MHz
	∕	水戸	83.2MHz
関東地方(AM)	FMヨコハマ	横浜	84.7MHz
	NHK-FM	さいたま	85.1MHz
関東地方(AM)	FM群馬	前橋	86.3MHz
	NHK第1	東京	594kHz
	NHK第2	∕	693kHz
	AFN	∕	810kHz
	TBSラジオ	∕	954kHz
	文化放送	∕	1,134kHz
	茨城放送	水戸	1,197kHz
	ニッポン放送	東京	1,242kHz
	ラジオ日本	横浜	1,422kHz
	栃木放送	宇都宮	1,530kHz
中部地方(FM)	FM福井	福井	76.1MHz
	FM新潟	新潟	77.5MHz
	ZIP FM	名古屋	77.8MHz
	新潟県民エフエム	新潟	79.0MHz
	K-MIX	静岡	79.2MHz
	RADIO-i	名古屋	79.5MHz
	FM長野	美ヶ原	79.7MHz
	岐阜FM	高山	80.0MHz
	FM石川	金沢	80.5MHz
	中部地方(FM)	FM AICHI	名古屋
NHK-FM		富山	81.5MHz
∕		金沢	82.2MHz
∕		新潟	82.3MHz
∕		名古屋	82.5MHz
FMとやま		富山	82.7MHz
FM-FUJI		坊ヶ峰	83.0MHz
NHK-FM		福井	83.4MHz
∕		岐阜	83.6MHz
∕		長野	84.0MHz
∕	甲府	85.6MHz	
∕	静岡	88.8MHz	

	放送局名	場所	周波数
中部地方(AM)	NHK第2	静岡	639kHz
	NHK第1	富山	648kHz
	∕	名古屋	729kHz
	北日本放送	富山	738kHz
	YBSラジオ	甲府	765kHz
	NHK第1	長野	819kHz
	NHK第1	新潟	837kHz
	福井放送	福井	864kHz
	NHK第1	静岡	882kHz
	NHK第2	名古屋	909kHz
中部地方(AM)	NHK第1	福井	927kHz
	∕	甲府	927kHz
	NHK第2	富山	1,035kHz
	CBCラジオ	名古屋	1,053kHz
	信越放送	長野	1,098kHz
	北陸放送	金沢	1,107kHz
	新潟放送	新潟	1,116kHz
	NHK第1	金沢	1,224kHz
	東海ラジオ	名古屋	1,332kHz
	NHK第2	金沢	1,386kHz
近畿地方(FM)	静岡放送	静岡	1,404kHz
	岐阜ラジオ	岐阜	1,431kHz
	NHK第2	長野	1,467kHz
	∕	福井	1,521kHz
	∕	新潟	1,593kHz
	∕	甲府	1,602kHz
	FM CO・CO・LO	生駒山	76.5MHz
	E-Radio	滋賀	77.0MHz
	Kiss-FM KOBE	姫路	77.6MHz
	FM三重	津	78.9MHz
FM 802	大阪	80.2MHz	
近畿地方(FM)	NHK-FM	津	81.8MHz
	∕	京都	82.8MHz
	∕	大阪	84.0MHz
	∕	和歌山	84.7MHz
	FM大阪	大阪	85.1MHz
	NHK-FM	神戸	86.5MHz
	∕	奈良	87.4MHz
	∕	大阪	88.1MHz
	FM京都	京都	89.4MHz
	Kiss-FM KOBE	神戸	89.9MHz

放送局名一覧(つづき)

	放送局名	場所	周波数
近畿地方(AM)	AM KOBE	神戸	558kHz
	NHK第1	京都	621kHz
	∕	大阪	666kHz
	NHK第2	大阪	828kHz
	ABCラジオ	∕	1,008kHz
	KBS京都	京都	1,143kHz
中国地方(AM)	MBSラジオ	大阪	1,179kHz
	ラジオ大阪	∕	1,314kHz
	和歌山放送	和歌山	1,431kHz
中国地方(FM)	FM岡山	岡山	76.8MHz
	エフエム山陰	松江	77.4MHz
	広島FM	広島	78.2MHz
	FM山口	山口	79.2MHz
	NHK-FM	松江	84.5MHz
	∕	山口	85.3MHz
	∕	鳥取	85.8MHz
	エフエム山陰	浜田	86.6MHz
	NHK-FM	広島	88.3MHz
	∕	岡山	88.7MHz
中国地方(AM)	NHK第1	岡山	603kHz
	∕	山口	675kHz
	NHK第2	広島	702kHz
	山口放送	徳山	765kHz
	山陰放送	米子	900kHz
	NHK第1	下関	1,026kHz
	NHK第1	広島	1,071kHz
	NHK第2	鳥取	1,125kHz
	NHK第1	松江	1,296kHz
	中国放送	広島	1,350kHz
中国地方(AM)	NHK第1	鳥取	1,368kHz
	NHK第2	山口	1,377kHz
	∕	岡山	1,386kHz
	山陽放送	岡山	1,494kHz
	AFN	山口	1,575kHz
	NHK第2	松江	1,593kHz
四国地方(FM)	FM香川	高松	78.6MHz
	FM愛媛	高松山	79.7MHz
	FM徳島	徳島	80.7MHz
	FM高知	高知	81.6MHz
	NHK-FM	徳島	83.4MHz

	放送局名	場所	周波数	
四国地方(FM)	NHK-FM	高松	86.0MHz	
	∕	高知	87.5MHz	
	∕	高松山	87.7MHz	
四国地方(AM)	高知放送	高知	900kHz	
	NHK第1	徳島	945kHz	
	∕	松山	963kHz	
	∕	高知	990kHz	
	NHK第2	高松	1,035kHz	
	南海放送	高松山	1,116kHz	
	NHK第2	高松	1,152kHz	
	四国放送	徳島	1,269kHz	
	NHK第1	高松	1,368kHz	
	西日本放送	∕	1,449kHz	
NHK第2	松山	1,512kHz		
九州地方(FM)	Love FM	福岡	76.1MHz	
	FM中九州	熊本	77.4MHz	
	FM佐賀	佐賀	77.9MHz	
	CROSS FM	福岡	78.7MHz	
	SMILE-FM	長崎	79.5MHz	
	FM鹿児島	鹿児島	79.8MHz	
	FM福岡	福岡	80.7MHz	
	NHK-FM	佐賀	81.6MHz	
	FM宮崎	宮崎	83.2MHz	
	NHK-FM	長崎	84.5MHz	
∕	福岡	84.8MHz		
∕	熊本	85.4MHz		
九州地方(FM)	NHK-FM	鹿児島	85.6MHz	
	∕	北九州	85.7MHz	
	∕	佐世保	86.0MHz	
	∕	宮崎	86.2MHz	
	FM大分	大分	88.0MHz	
	NHK-FM	∕	88.9MHz	
	九州地方(AM)	NHK第1	宮崎	540kHz
		∕	鹿児島	576kHz
		∕	福岡	612kHz
		NHK第1	大分	639kHz
∕		長崎	684kHz	
∕		熊本	756kHz	
NHK第2	熊本	873kHz		

	放送局名	場所	周波数
九州 地方 (AM)	宮崎放送	宮崎	936kHz
	NHK第1	佐賀	963kHz
	NHK第2	福岡	1,017kHz
	大分放送	大分	1,098kHz
	南日本放送	大牟田	1,107kHz
	熊本放送	熊本	1,197kHz
	長崎放送	長崎	1,233kHz
	RKBラジオ	福岡	1,278kHz
	NHK第2	長崎	1,377kHz
	〃 KBCラジオ NHK第2 〃 AFN	鹿児島 福岡 大分 宮崎 佐世保	1,386kHz 1,413kHz 1,467kHz 1,467kHz 1,575kHz
沖縄 (FM)	FM 沖縄	那覇	87.3MHz
	NHK-FM	沖縄	88.1MHz
	AFN 沖縄	〃	89.1MHz
沖縄 (AM)	NHK第1	沖縄	549kHz
	AFN	〃	648kHz
	琉球放送	那覇	738kHz
	ラジオ沖縄	〃	864kHz
	NHK第2	〃	1,125kHz

故障かな?と思う前に

—おや?故障かな?と思ったら…修理を依頼される前にもう一度お確かめください。—

症 状	原 因 ・ 処 置
どのボタンを押しても正しく動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。 →リセットボタンを押す。(→9ページ参照) (時計の設定や放送局などのメモリー内容が取り消され、お買い上げの状態に戻ります)
CDやMDを入れても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量を適度に調節する。 ● 内部のレンズが結露(つゆつき)している。 →ラジオを聞くなどして1~2時間待つ。
MDが入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ラベル面を上にし、⇐や▶の表示に従って正しく入れる。 ● すでにMDが入っているときは、MD▲(取出し)ボタンを押して取り出す。
ディスクが出てきてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクの読み取りでエラーが発生しています。 →ディスクを入れ直す。または他のディスクを入れて本機が異常でないかを確認する。
CD-R/CD-RWディスクの再生、スキップ演奏ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ファイナライズ処理がされていないため。 →ファイナライズ処理したディスクと交換する。または録音した機器でファイナライズ処理する。
放送がうまく受信できない。 雑音が多くて聞きにくい。 AMラジオが受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナの接続を確認する。またはアンテナが十分に伸びているか確認する。 ● アンテナコントロール端子(またはアンテナブースター電源端子)に本機の「アンテナコントロール電源」コードを正しく接続する。 ● 放送局の周波数に正しく合わせる。 ● 携帯電話などを本機から離す。
ディスクの出し入れのとき音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクの出し入れのときは、音声にミュートングをかけて雑音の発生を防いでいるため故障ではありません。
電源を切ったが「ATT」表示が点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源(ON/OFF)ボタンを「SEE YOU」が表示されるまで…1秒以上…押す。
電源が入らない。 (DISPボタンを押すと)時計は表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● 「電源(ACCライン)」のコードが接続されていないため。

〈お知らせ〉

- 本機の故障や不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

こんな表示のときは

表示	原因・処置
BLANK DISC	<ul style="list-style-type: none"> ●録音されていないMDを入れたため。 →録音済みのMDと交換する。
NO NAME	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスク名や曲名、グループ名が記録されていないとき DISPボタンを押したため。
HIGH TEMP	<ul style="list-style-type: none"> ●本機の内部の温度が異常に高くなっている。 →CD▲またはMD▲(取出し)ボタンを押したあとラジオに切換えて温度が下がるのを待つ。
NO PRE ADJ.	<ul style="list-style-type: none"> ●雑音などの影響でプリセットデータに異常が発生している。 →お買い上げの販売店にご連絡ください。
EJECT ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ●MD(またはCD)の取り出しができなかったとき。 →MD(またはCD)挿入口の障害物を取り除きMD▲またはCD▲(取出し)ボタンを押す。
LOAD ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ●MD(またはCD)が正しく挿入されなかったとき。 →MD(またはCD)の表面にキズや汚れがないか確認し、入れ直す。
MECHA ERROR IC ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ●内蔵のマイコンが誤動作したため。 →リセットボタンを押す。(→9ページ参照)
NG DISC 2	<ul style="list-style-type: none"> ●音楽以外のMD(データMD)を入れたため。 →音楽が録音されているMDを入れる。
「MD」または 「CD」が点滅	<ul style="list-style-type: none"> ●盗難防止状態になっている。 →盗難防止状態を解除する。(→21 25ページ参照)
●CDチェンジャー	
RESET 8	<ul style="list-style-type: none"> ●CDチェンジャーとの通信エラーが発生したため。 →CDチェンジャーとの接続コードを確認する。
RESET ^{数字} ○	<ul style="list-style-type: none"> ●CDチェンジャー本体にエラーが発生したため。 →CDチェンジャーの取扱説明書の「エラーコードについて」をご覧ください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みした後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

持込修理

56～57ページの「故障かな?と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDやMDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎() -

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

MDプレーヤー部

- 型 式：ミニディスクデジタルオーディオシステム
- 再生時間：再生モードSP：80分
(MD80使用時) LP2：160分
LP4：320分
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：20Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：92dB
- S N 比：93dB

CDプレーヤー部

- 型 式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
- サンプリング周波数：44.1kHz
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：5Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：98dB
- S N 比：102dB

チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1
(JASOプラグ仕様)

FMチューナー部

- 受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
- 実用感度：14.3dBf(1.43μV/75Ω)

AMチューナー部

- 受信周波数：522kHz～1,629kHz
- 実用感度：27dBμ(22.4μV)

オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント 50W+50W
(4Ω, 1kHz)
リア 50W+50W
(4Ω, 1kHz)
- 適合インピーダンス：4Ω(4Ω～8Ωで使用可能)
- 入力端子：DINジャック×1
：AUX(φ3.5ステレオミニ)
×1
- 出力端子：RCAピン×2系統

電源部・その他

- 電源電圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)
マイナスアース専用
- 取付寸法：幅178mm×高さ100mm×奥行150mm
- 外形寸法：幅178mm×高さ100mm×奥行169mm
- 質量：約2.2kg(付属品含まず)
- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

付属品

- ・リモコン(RM-RK50) …………… 1
- ・電池(CR2025) …………… 1
- ・カスタマイズプレート(着せ替え用) …… 2
- ・六角レンチ …………… 1
- ・接続コード*(16ピンコネクター) …… 1
- ・ネジ(M5×6mm) …………… 8
- ・皿ネジ(M5×6mm) …………… 8
- ・六角ネジ(M2.6×6mm) …………… 2
- ・マウンティングプレート(日産車用) …… 1

別売りアクセサリ

- ・クリーニングキット：CK-25(CD用)
- ・MDレンズクリーナー：CL-ML
- ・RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)
CN-510E(長さ1m)
CN-520E(長さ2m)
- ・撥線コード(ステレオミニプラグ)：CN-203A(長さ1.5m)
- ・変換コード：KS-U57

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに
関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
JVCカーオーディオお客様ご相談センター

別紙の
「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」
をご覧ください。

☎ 0120-977846(フリーダイヤル)
FAX(027)254-8927

受付時間 10:00~18:00

(土、日、祝日、当社休日を除く)

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

ビクターインターネットホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/>

カーAV機器ホームページアドレス

<http://www.jvc-victor.co.jp/car/>

JVC

MANUFACTURED BY VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

日本ビクター株式会社

パーソナル&モバイルネットワークビジネスユニット

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

☎(027)254-8926